

社会福祉会館外部保全工事

図面リスト					
番号	図面名称	縮 尺	番号	図面名称	縮 尺
A－1	表紙・図面リスト	―――	B－1	劣化図 立面図（1）（参考図）	1/100
A－2	建築改修工事特記仕様書（1）	―――	B－2	劣化図 立面図（2）（参考図）	1/100
A－3	建築改修工事特記仕様書（2）	―――	B－3	劣化図 2、3階平面図（参考図）	1/100
A－4	建築改修工事特記仕様書（3）	―――			
A－5	建築改修工事特記仕様書（4）	―――			
A－6	建築改修工事特記仕様書（5）	―――			
A－7	建築改修工事特記仕様書（6）	―――			
A－8	建築改修工事特記仕様書（7）	―――			
A－9	建築改修工事特記仕様書（8）	―――			
A－10	案内図・工事概要・配置図	1/100			
A－11	仮設計画図	1/100			
A－12	仕上表	―――			
A－13	改修前後 1、2階平面図	1/100			
A－14	改修前後 3階、屋上平面図	1/100			
A－15	改修前 立面図	1/100			
A－16	改修後 立面図	1/100			
A－17	改修前後 矩計図	1/30			
A－18	改修前後 外部階段断面詳細図	1/30			
A－19	改修前後 2、3階ベランダ断面詳細図	1/30			
A－20	改修前後 1～3階天井伏図	1/100			
A－21	改修前後 1、2階建具符号図	1/100			
A－22	改修前後 3階、屋上建具符号図	1/100			
A－23	建具表（1）	1/50			
A－24	建具表（2）	1/50			
A－25	建具表（3）	1/50			

表紙共28枚

章	項	目	特記事項	備考
1	5節	施工調査		
	1.5.2	施工数量調査	* 調査範囲 ※図示による○外壁 ・ 屋上防水 ・ 内装 ・ 塗装 ・ (内壁) * 調査方法 ※図示による○打診法 ・ 赤外線法 ・ 反射法 ・ () * 補修方法 ()	
	1.5.3	調査破壊部分の補修		
	6節	施工		
	1.6.2	技能士	* ※ 適用する ・ 適用しない 適用職種 標準仕様書 工事種別 標準仕様書 工事の細分 資格(技能検定における選択作業) 備 考 ※ 鉄筋工事 加工及び組立て 1級鉄筋技能士 適用工事は下記による ※ コンクリート工事 型枠 1級型枠施工技能士 ※延べ5,000㎡ ※ 床コンクリートこて仕上げ 1級左官技能士 以上の工事 ※ 防水工事 アスファルト防水 1級防水施工技能士 ・ その他特に必要と認められる工事 ※ シート防水 ※ 塗膜防水 ※ シーリング	
	1.6.5	施工の検査等	* その他必要と認められる技能検定の職種及び作業の種類 () * 見本施工 ※ 行わない ・ 行う ()	
	1.6.9	化学物質の濃度測定	* 下記の室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告すること。 * 測定時期 () ・ アセトアルデヒド (参考値) * 対象物質 ※ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン ・ パラジクロロベンゼン ・ () * 測定方法 ※ パッシブ型採取法 ・ 文部科学省「学校環境衛生の基準」による ・ () * 測定する室/測定箇所数 (-) () (/)	
	7節	工事検査及び技術検査		
	1.7.2	技術検査	* 中間技術検査 ・ 行わない ・ 行う (実施回数： 、実施時期：) 契約図の製本は契約後速やかに、それ以外の図書は完了検査合格後に監督員の指定する期日までに提出すること。	
	8節	完成図等	* 工事完了前に次の図書を作成し監督職員に提出する。 1) 完成原図 (施工図を除く) 1部 2) 完成図 (施工図を除く) の2つ折り製本 1部 ③ 契約図のA3版2つ折り製本 (合本作成) 3部 4) 契約図のA1版2つ折り製本 1部 ⑤ 竣工図A3版2つ折り製本 3部 6) 施設台帳の作成又は整備 (高等学校及び特別支援学校を除く) ⑦ その他必要書類 1部 8) 契約図・完成図 (施工図を除く) のPDFファイル (公共建築課PDFファイル作成ガイドラインによる) CD-RまたはDVD-R 2部 9) 竣工図A3版2つ折り製本 2部	
一般		完成図及び竣工図等	* 完成図の種類は下記とする。 1. 配置図 2. 平面図・求積図 3. 仕上表 4. 施工図 5. その他監督職員の指示するもの * 原図作成方法 ※ CAD作成し紙出力 紙の種類 ※ PPC用が「エシタルサド」和紙同等品 ・ トレーシングペーパー サイズ ※ 設計原図と同じ ・ () C A D データ [・ 提出する (・ 愛知県電子納品運用ガイドラインに基づく ・ 監督職員との協議による (AutoCAD)) ・ 提出しない	
		その他		
		* 光熱水費 * 現場代理人等	* 建物引き渡しまでの電気、水道、ガス等の料金 (基本料金を含む) は、協議の上、各工事受注者が負担する。	
共通事項			* 契約約款第11条に規定する現場代理人、主任技術者 (監理技術者) の通知は、所定の様式 (現場代理人等通知書) により、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。また建設業法に基づく監理技術者補佐、専門技術者を定めたときも同様とする。 * 受注者は、主任技術者について建設業法施行令第27条第2項の規定に基づき他の工事と兼務させる場合や監理技術者について同施行令第28条及び第29条の規定に基づき監理技術者補佐を専任で配置することにより他の工事と兼務させる場合にあっては、所定の様式により兼務届を作成の上、新たに契約した工事については工事請負契約締結後5日以内に、現に施工中の工事については原則兼務期間の始期より前に、監督職員を通じて発注者に提出すること。 * 監理技術者の兼任要件等については、「建設業第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者の配置要件について」のとおりとする。 (https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/tokureikanrigijutusha.htmlを参照) * 改修工事の保険の種類は、建設工事保険、火災保険又は組み立て保険とする。 期間は、工事資材の現場搬入の日から工事目的物の引渡しの日までとする。(特に定めのない限り、契約上の工事完成期日経過後14日間とする。) 保険金受取人 (被保険者) は、受注者とする。 * 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。 * 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。 * 南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まった旨の「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合、受注者は、継続的に地震関連情報の収集に努め、工事中の建築物等及び仮設物に対し、必要な安全対策措置が実施されているかの確認、及び作業員や必要に応じ第三者に対する安全の再確認を行うなど、有事に際しての備えを行うこと。 * 受注者は、下請負に付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。 1) 受注者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。 2) 下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。 3) 下請負者は、建設業法に基づく営業停止の期間中でないこと。 * 建設業法第24条の8第1項の規定により作成した施工体制台帳 (同項の規定により記載すべきものとされた事項に変更が生じたことに伴い新たに作成されたものを含む。) の写しを監督職員に提出すること。 (公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第15条) * 下請契約を締結する場合においては、下請金額に関わらず施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者及び公衆が見やすい場所 (仮囲いなど) に掲示する。 * 本工事における木材利用状況に関する調査に協力すること。 * 契約約款第3条第1項の規定による「工程表」は、発注者から請求があった時に提出すること。 * 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針 (建設大臣官房技術審議官通達)」及び関連法規の規定を厳守し施工する。また、騒音規制法、振動規制法の規制の対象となる作業 (特定建設作業) 及び下記に指定した建設機械については、「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」 (建設大臣告示) により指定された建設機械を使用する。	

章	項	目	特記事項	備考
一般			作業名： 建設機械名： 作業名： 建設機械名： * 排出ガス対策型建設機械 ※ 有り ・ なし (対象機種：バックホウ、車輪式トラクタ・ショベル、ブルドーザー、発動発電機、空気圧縮機、油圧ユニット、ローラー類、ホイールクレーン (いずれもディーゼルエンジン出力7.5～260KW)) (対象規制値：排出ガス対策型建設機械指定要領 (国土交通省総合政策局) の別表1 (1次基準値)) * 工事場所が「自動車NOx・PM法」の規制対象地域内においては、「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」 (愛知県：https://www.pref.aichi.jp/kankyo/ondanka/car/yoko/index.html) に基づき、対象地域外からの流入車も含め、車種規制非適合車の使用抑制に努めるものとする。 * 受注者は、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたって、燃料を購入して使用するときは、当該特定特殊自動車の製作等に関する事業者または団体が推奨する軽油 (ガソリンスタンド等で販売されている軽油をいう) を選択しなければならない。また、監督職員から特定特殊自動車に使用した燃料の購入伝票を求められた場合、提示しなければならない。なお、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたっては、下請負者等に関係法令等を遵守させるものとする。 * 薬液注入工法により地盤の改良を行う場合は、「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」 (建設省事務次官通達) による。 * 既存の壁等に対して作業 (仕上塗材の除去・補修、コア抜きやアンカーボルト打設作業など仕上塗材の破断を伴う全ての作業) をする場合は、既存壁等の石綿含有仕上塗材使用の有無を確認し、石綿が含有されている場合は、除去工法、作業方法等について関係法令所管当局及び監督職員と協議の上、適切な石綿飛散防止措置を講じること。	
共通事項	1節	共通事項		
	2.1.3	騒音・粉じん等の対策	* 騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート ※ 図示による 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲等 ※ 図示による ・ ()	
	2節	足場等		
	2.2.1	足場等	* 足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」 (平成21年4月24日厚生労働省労働基準局長 基発第0424002号) に規定する「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は2の(3)手すり先行専用足場方式により行う。 * 屋根面からの墜落事故防止対策として、必要に応じて、JIS A8971 (屋根工事用足場及び施工方法) に基づき、建方作業台、渡り廊下、墜落防護さく等の足場及び装備機材を設置する。 * 外部足場 ※ 枠組足場またはくさび緊結式足場 (W=900) ・ 単管本足場 ・ 仮設ゴンドラ ・ 移動式足場 ・ () 設置するシート等 ・ 防護シート (JISA8952) ・ 防護ネット (JISA8960) ・ 防音シート ・ ⑧ ネット養生シート) 足場、防護シート等の設置範囲 ※ 図示による * 内部足場 ⑩ 脚立・足場板等 ⑨ 枠組足場またはくさび緊結式足場 (W9 ・ () * 材料、撤去材等の運搬方法 ・ A種 ⑪ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ () [表2.2.1] * 高さが5m以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具はフルハーネス型とし、「墜落制止用器具の規格」 (平成31年1月25日厚生労働省告示第11号) によるものとする。	
	3節	養生		
	2.3.1	既存部分の養生	* 既存部分の養生 ※ ビニルシート、合板等により適切に行う ・ 図示による ・ () * 既存部分の既存家具、既存設備等の養生方法 ※ 監督職員の承諾を受けてビニルシート等で行う ・ 図示による 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ・ 図示による ・ ビニルシート等 ・ 保管場所 () 固定された備品、机・ロッカー等の移動 ・ 図示による ・ 移動しない	
	2.3.2	仮設間仕切り	* 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 [表2.3.1] 設置箇所 ※ 図示による A種、B種の場合の材料 ・ 合板 (厚さ ※ 9mm ・ () ※ せっこうボード (厚さ ※ 9.5mm ・ () mm) 間仕切りへの仕上げ ※ 無 ・ 有 (範囲及び仕上げは図示による) * 仕様 ※ 合板張り木製扉程度 ・ () 設置箇所 ※ 図示による ・ ()	
		* 仮設扉		
	4節	仮設物		
	2.4.1	* 受注者事務所、材料置場その他仮設物の設置場所	* 受注者事務所 (設ける場合) ※ 構内 (従業員宿舎除く) ・ 構外 材料置場 ※ 構内 ・ 構外 その他仮設物 ※ 構内 (従業員宿舎除く) ・ 構外 * 事務所等は建築基準法等関係法令を遵守し、基礎を設置するなど適切に建築すること。	

章	項目	特記事項	備考
2章	建設現場標識の設置	*建設現場標識 ※ 設ける（他工事と共同設置を可とする）・ 設けない	
3章	1節 一般事項 *保証期間 3.1.3 施工一般 1節～6節 防水工事 3.1.4 改修工法の種類 ・工程	*防水の保証期間は工事目的物引渡しからモルタル防水5年、その他防水10年とする。 *降雨等に対する養生方法 ※ 3.1.3(5) による ・ 図示による ・ () *防水改修工法・種別 ・ 図示による *POS(機械)、POSI(機械)、M4S、M4SI、S4S（機械）、S4SI（機械）工法における既存防水層（立上り部等）撤去工法（ ） ・ 撤去する ・ 撤去しない ・ 図示による *P1E、P2E、P1Y、P2Y、P1S工法における保護層の新設 ・ 新設する(工法) ・ 新設しない ・ 図示による *P0AS、P0ASI、P0D、P0DI、P0S、P0SI、P0X工法における改修用ドレンの設置工法（ ） ・ 設置する ・ 設置しない ・ 図示による *既存下地 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示による ・ () *既存防水層の処理[L4X工法] 仕上げ塗装の除去 ※ 図示による ・ () *POS工法及びPOSI工法(機械)における 既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ・ 図示による ※ 3.2.6(4)(g)(g)による ・ () *設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環取付部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の収まり部の処理 ・ 図示による ・ 監督職員と協議	
	3節 アスファルト防水 3.3.2 材料	*改質アスファルトルーフィング シートの種類及び厚さ ・ 図示による ※ 表3.3.3～表3.3.9による ・ () *部分粘着層付改質アスファルトルーフィング シートの種類、厚さ ・ 図示による ※ 表3.3.3～表3.3.9による ・ () *押え金物 材質及び形状寸法 ・ 図示による ※ アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度 ・ () *屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材厚さ ・ 図示による ・ () *屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ ・ 図示による ・ () *絶縁用シート材料 ・ 図示による ・ ポリエチレンフィルム@0.15mm以上 ・ フラットヤーンクロス(70g/㎡程度) ・ () *立上り部の保護の乾式保護材 ・ 図示による ・ () *立上り部の保護のれんが ・ 図示による ※ JIS R 1250(普通れんが及び化粧れんが) ・ () *屋根保護防水 新規防水層の種類及び工程 種別 ・ () ・ 図示による [表3.3.3] 立上り部における保護コンクリートの適用及び工法 ・ 図示による ・ () ～[表3.3.6] *屋根露出防水、屋根露出防水絶縁断熱工法 新規防水層の種別 ・ () ・ 図示による [表3.3.7] 仕上塗料の種類（ ） ・ 図示による ～[表3.3.9] 使用量 ※ アスファルトルーフィング 類の製造所の仕様による ・ 図示による ・ () 脱気装置の種類、設置数量 ・ 図示による ※ アスファルトルーフィング 類製造所の指定による *屋内防水 新規防水層の種類及び工程 種別 ・ () ・ 図示による 保護層の設置（ ） ・ 図示による E-1の工程 3 ・ 図示による ※ 常時水に接する部位に適用 ・ () *アスファルトルーフィング 類のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材張りじまい位置 ・ 図示による ・ () *平場の保護コンクリート 厚さ ・ 図示による ※ こて仕上げ80mm以上、床タイル張り等仕上げ60mm以上 こて仕上げの場合の平たんさ ・ 7mm以下/3m ・ 10mm以下/3m ・ 10mm以下/1m [表8.1.5] *立上り部保護方法 ・ 図示による ・ () *屋上排水溝 ※ 図示による ・ ()	
防水改修工事	3.3.3 種類及び工程		[表3.3.3] ～[表3.3.6] [表3.3.7] ～[表3.3.9]
	3.3.4 施工 3.3.5 保護層等の施工		
工事	4節 改質アスファルトシート防水 3.4.2 材料	*改質アスファルトシート 種類及び厚さ ・ 図示による ※ 表3.4.1～表3.4.3までによる ・ () *押え金物 材質、形状及び寸法 ・ 図示による ※ アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度 ・ () *屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材（発泡プラスチック断熱材）の種類及び厚さ ・ 図示による ・ () *新規防水層の種別（ ） ・ 図示による *仕上塗料の種類（ ） ・ 図示による 使用量 ※ アスファルトルーフィング 類製造所の仕様による ・ 図示による ・ () 脱気装置の種類、設置数量 ※ 改質アスファルトシート製造所の仕様による ・ 図示による	
	3.4.3 種類及び工程		
事	5節 合成高分子系ルーフィングシート防水 3.5.2 材料	*ルーフィングシート種類及び厚さ ・ 図示による ※ 表3.5.1～表3.5.3までによる ・ () *絶縁用シートの材質 ※ 発泡ポリエチレンシート ・ 図示による ・ () *固定金具の材質、形状及び寸法 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれら鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので厚さ0.4mm以上 ・ 図示による ・ () *断熱工法に用いる断熱材 種類及び厚さ ・ 図示による ・ () *新規防水層の種別 ・ () ・ 図示による 脱気装置の種類、設置数量 ※ ルーフィングシート製造所の仕様による ・ 図示による *S-M2又はSI-M2で立上りが接着工法の場合の立上り面のシート厚さ ※ 1.5mm ・ 図示による ・ () *仕上塗料の種類（ ） ・ 図示による 使用量 ※ ルーフィングシート製造所の仕様による ・ 図示による *SI-M1及びSI-M2の場合の防湿用フィルムの設置 ※ 図示による ・ () *S-C1の場合のモルタルの塗厚 ※ 図示による () *接着工法の場合で下地がプレキャストコンクリートの場合の目地処理 ※ 図示による ・ () *S-F1又はSI-F1の場合のプレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り ・ 図示による ・ () *一般部のルーフィングシート張付(機械式固定法)で建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※ 図示による *屋内保護密着工法の場合の保護層の施工[立上り部の保護モルタル塗厚] ※ 7mm以下 ・ 図示による ・ ()	
	3.5.3 種類及び工程		
	3.5.4 施工		
	6節 塗膜防水 3.6.3 種別及び工程	*新規防水層の種別 ※ 表3.6.1による ・ () ・ 図示による *仕上塗料の種類（ ） ・ 図示による 使用量 ・ 図示による ※ 主材料製造所の仕様による ・ () *X-1における脱気装置の種類及び設置数量 ・ 図示による ※ 主材料製造所の仕様による ・ ()	

章	項 目	特 記 事 項	備 考																				
3章	7節 シーリング	* P1Y及びP2Y工法における工程数及び各工程の使用量 ※ 主材料の製造所の仕様による * P1Y及びP2Y工法において実施する工程 工程4 工程5 図示による	図示による																				
	3.1.4 改修方法の種類及び工程	* 改修工法の種類 ※ 図示による シーリング 充填工法 シーリング 再充填工法 ・ 拡幅シーリング 再充填工法 ・ ブリッジ 工法	[表3.1.2]																				
	3.7.2 材 料	* シーリング 材の種類 図示による ※ [表3.7.1]による ()																					
	3.7.3 目地寸法	* コンクリート打継ぎ目地及びびび割れ誘発目地寸法 図示による ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上 () * ガラス周りの目地 図示による ※ 幅・深さとも5mm以上 () * 上記以外の目地 図示による ※ 幅・深さとも10mm以上 ()																					
	3.7.8 シーリング材の試験	* 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 引張接着性試験 図示による ()																					
	8節 と い																						
	3.8.2 材 料	* 材種等 ※ 図示による ()	[表3.8.1]																				
	3.8.3 工 法	* 表面処理鋼板の場合 耐酸被覆鋼板 使用する 使用しない * とい受金物、足金物の材種、形状及び取付け間隔 図示による ※ 表3.8.2により溶融亜鉛めっきを行ったもの 多雪地域 適用する 適用しない * 既存とい、その他の撤去及び降雨等に対する養生方法 図示による () * 鋼管製といの防露巻き 図示による ※ 表3.8.4による () * たてとい受金物の取付け 図示による () * ルーフドレンの取付工法 図示による ※ 3.8.3 (8) による ()																					
	9節 アルミニウム製笠木																						
	3.9.2 材 料	* 部材の種類 押出250形 押出300形 押出350形 板材折り曲げ形 (オープン形式 シール形式) 板材折曲げ形の場合 本体幅 ※ 図示による () 板厚 図示による ※ 2.0mm () * 表面処理の種別 () 図示による [表5.2.2] * 既存笠木撤去及び新規笠木の下地補修の工法 ※ 図示による () * 板材折曲げ形笠木の取付け方法 ※ 図示による () * 建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※ 図示による ()																					
3.9.3 工 法																							
4章	1節 一般事項																						
4章	4.1.4 内壁・外壁改修工法の種類	<table><tr><td>外壁仕上部位</td><td>コンクリート打放し仕上げ</td><td>モルタル塗り仕上げ</td><td>タイル張り仕上げ</td></tr><tr><td>ひび割れ部</td><td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 ・ 図示による</td><td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 ・ 図示による</td><td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法</td></tr><tr><td>欠 損 部</td><td>・ () ・ 図示による</td><td>・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td><td>・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法</td></tr><tr><td>浮 き 部</td><td></td><td>・ アンカーベッニング 部分球 樹脂注入工法 ・ アンカーベッニング 全面球 樹脂注入工法 ・ アンカーベッニング 全面球 リマーセメントスラリー 注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 部分球 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 リマーセメントスラリー 注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td><td>・ アンカーベッニング 部分球 樹脂注入工法 ・ アンカーベッニング 全面球 樹脂注入工法 ・ アンカーベッニング 全面球 リマーセメントスラリー 注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 部分球 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 リマーセメントスラリー 注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 リマーセメントスラリー 注入工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法</td></tr><tr><td>目 地</td><td></td><td></td><td>・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法</td></tr></table>	外壁仕上部位	コンクリート打放し仕上げ	モルタル塗り仕上げ	タイル張り仕上げ	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 ・ 図示による	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 ・ 図示による	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法	欠 損 部	・ () ・ 図示による	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法	浮 き 部		・ アンカーベッニング 部分球 樹脂注入工法 ・ アンカーベッニング 全面球 樹脂注入工法 ・ アンカーベッニング 全面球 リマーセメントスラリー 注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 部分球 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 リマーセメントスラリー 注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	・ アンカーベッニング 部分球 樹脂注入工法 ・ アンカーベッニング 全面球 樹脂注入工法 ・ アンカーベッニング 全面球 リマーセメントスラリー 注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 部分球 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 リマーセメントスラリー 注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 リマーセメントスラリー 注入工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法	目 地			・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法	
	外壁仕上部位	コンクリート打放し仕上げ	モルタル塗り仕上げ	タイル張り仕上げ																			
	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 ・ 図示による	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 ・ 図示による	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法																			
	欠 損 部	・ () ・ 図示による	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法																			
	浮 き 部		・ アンカーベッニング 部分球 樹脂注入工法 ・ アンカーベッニング 全面球 樹脂注入工法 ・ アンカーベッニング 全面球 リマーセメントスラリー 注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 部分球 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 リマーセメントスラリー 注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	・ アンカーベッニング 部分球 樹脂注入工法 ・ アンカーベッニング 全面球 樹脂注入工法 ・ アンカーベッニング 全面球 リマーセメントスラリー 注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 部分球 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 リマーセメントスラリー 注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーベッニング 全面球 リマーセメントスラリー 注入工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法																			
	目 地			・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法																			
	4.1.5 内壁・外壁改修塗り仕上げの種類	* 改修後の新規仕上げの種類 ※ 図示による 薄付け仕上塗材塗り 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り(吹付凹凸 小粒) 可とう形改修用仕上塗材塗り 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用塗膜防水材塗り																					
	2節 材 料																						
	4.2.2 工法別使用材料	* 樹脂注入工法に使用する球 樹脂 低粘度形 中粘度形 * Uカットシール材充填工法に使用するシーリング 材 ※ ポリウレタン系シーリング 材 (成形形 2成分形) () * シール工法材料 ・ バテ状球 樹脂 可とう性球 樹脂 () 図示による * 充填工法材料 ・ 球 樹脂モルタル 球 リマーセメントモルタル () 図示による * アンカーベッニング 注入工法用材料 ・ リマーセメントスラリー ※ 図示による () ・ アンカーベッニング 材質等 ※ ステンレス鋼SUS304 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの () * 注入口付アンカーベッニング 注入工法材料 注入口付アンカーベッニング 材質等 ※ SUS304 呼び径外径6mm () * モルタル塗替え工法用材料 モルタル 現場調査材料 既調査合材料 () () 既製目地材 ・ 使用する (形状) ・ 使用しない * タイル（部分）張替え工法用材料 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 外装タイル接着剤 タイルの形状、寸法、耐凍害性の有無、耐滑り性、標準色・特別色の別等 ※ 図示による () タイル役物 ・ 使用する ・ 使用しない 試験張り ※ 行わない ・ 行う 見本焼き ※ 行わない ・ 行う 既調査合モルタル ※ 図示による () * 塗り仕上げ用材料 (仕上塗材) 種類、仕上げ形状、工法 () 図示による [表4.2.4] 外装厚塗材Si、Eにおける上塗材 塗る 塗らない 外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 () 図示による 複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の耐候性 ※ 耐候形 3 種 () 図示による																					
	社会福祉会館外部保全工事	図面番号																					
縮尺	0 4																						
建築改修工事特記仕様書 3 / 8																							
検 図	製 図	設 計																					

No.4a

章	項	目	特記事項	備考
5	5.13.3 5.13.4 5.13.5	ガラスの寸法、形状等 工法 ガラスブロック積み	日射熱遮へい性区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 ・ 図示による ・ () 耐久性区分 ・ A類 ・ B類 ・ 図示による ・ () 材料板ガラスの種類 ・ () 厚さによる種類 ・ 6mm ・ 8mm ・ 10mm ・ 12mm ・ 図示による ・ () ※ ガラスをはめ込む溝の大きさ ※ 建具の製造所の仕様による ・ () * 熱線反射ガラスの映像調整 () * 材料 ガラスブロック表面形状、呼び寸法及び厚さ ※ 図示による ・ () 壁用金属枠及び補強材 ※ 図示による ・ () 力骨の材質、寸法及び形状 ※ ステンレス鋼（SUS304）製径5.5mmのはしご状複筋及び単筋 ・ () 化粧目地モルタルの色 ・ 図示による ・ () シーリング材の種類 ・ 図示による ・ () 金属製化粧カバーの材質、寸法及び形状 ・ 図示による ・ () 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・ 図示による ・ () 目地幅 平積み ・ () mm ※ 8mm以上15mm以下 ・ 図示による 曲面積み ・ () mm ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 ・ 図示による 伸縮調整目地位置 ・ () m以下ごと ※ 6m以下ごと 伸縮調整目地の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様 ・ 図示による	
			倍強度ガラス	
			* ガラス留め材	
			* 板ガラスをはめ込む溝の大きさ	
			* 熱線反射ガラスの映像調整	
			* 材料	
6	6.1.3 6.2.2 6.3.2 6.5.1	一般事項 他の部位との取合い等 既存床の撤去・下地補修 工法 既存壁の撤去及び下地補修 工法 木下地等 一般事項	* 既存間仕切壁の撤去に伴う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度 ・ 図示による * 天井内の既存壁撤去に伴う天井改修範囲 ※ 壁面から両側600mm程度 ・ 図示による * 天井撤去に伴う壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示による * ビニル床シート等の除去における下地モルタルの撤去 ※ 図示による ・ () * 合成樹脂塗床材の除去等の工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 ・ 図示による * 改修後の床清掃範囲 ※ 図示による ・ () * 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ モルタル塗り [4.4.9] ・ () ・ 図示による * 間伐材 樹種 ○ 杉（愛知県内産、長野県下伊那郡根羽村産、その他の安城市交流自治体地域産） * 見え掛り面の表面の仕上げ程度〔機械加工〕 ・ 図示による 適用箇所 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ A種 ・ B種 ・ C種 [表6.5.1] * 見え掛り面の表面の仕上げ程度〔手加工〕 内部造作材 ※ H-B種 ・ () 下地材 ※ H-C種 ・ () [表6.5.2] * 含水率 ※ A種 ・ B種 [表6.5.3] * 製材 (2)(ア) 「製材のJAS」による製材 下地用針葉樹製材 樹種、寸法、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ※ 図示による ※ 2級 造作用針葉樹製材 樹種、寸法、等級、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 板材における等級 ※ 枠、額縁、敷居、鴨居、框の類の見掛け面は上小節、それ以外は小節以上 広葉樹製材 樹種、寸法、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ※ 図示による ※ 1等 ・ () 含水率 ※ 10%以下 ・ 図示による ・ () (2)(イ) 「製材のJAS」以外の製材 下地、造作及び仕上げに用いる製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理及び含水率 ※ 図示による 造作材の材面の品質の基準 ※ A種 ・ B種 [表6.5.4] (3)(ア) * 造作用集成材 「集成材のJAS」による造作用集成材 造作用集成材 品名、樹種、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による ・ () 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による ・ () 化粧ばり構造用集成柱 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による (3)(イ) 「集成材のJAS」以外の造作用集成材 造作用集成材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・ 図示による ・ () 樹種、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・ 図示による ・ () 化粧ばり構造用集成柱 樹種、寸法、見付け材面の品質、化粧薄板の厚さ ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・ 図示による ・ () (4)(ア) * 造作用単板積層材 「単板積層材のJAS」に基づく造作用単板積層材 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による (4)(イ) 「単板積層材のJAS」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による 含水率 ※ 14%以下 ・ 図示による ・ () (5) * 直交集成板 品名、曲げ強度、種別、接着性能（使用環境）、樹種及び寸法 ※ 図示による (6) * 合板等 下地用普通合板 品名、単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 厚さ ※ 5.5mm ○ 図示による 接着の程度 ※ 1類 ・ 図示による 板面の品質 ※ 2等以上（広葉樹） ※ C-D以上（針葉樹） ・ 図示による 湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度 ※ 1類 ・ 図示による 下地用構造用合板 品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理、強度等級 ※ 図示による 厚さ ※ 12mm ○ 図示による 接着の程度 ※ 1類（湿潤箇所を除く） ※ 特類（湿潤箇所） ・ 図示による 等級 ※ 2级以上 ・ () 板面の品質 ※ C-D以上 ・ () 化粧ばり構造用合板 品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度、防虫処理 ※ 図示による 湿潤状態となる場合に使用する場合の接着の程度 ※ 特類 ・ 図示による 天然木化粧合板 厚さ、接着の程度、化粧板に使用する単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 特殊加工化粧合板 品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法、防虫処理 ※ 図示による	
			ガラスの寸法、形状等	
			工法	
			ガラスブロック積み	
			* ガラス留め材	
			* 板ガラスをはめ込む溝の大きさ	
* 熱線反射ガラスの映像調整				
* 材料				
7	7.1 7.2 7.3 7.4 7.5 7.6	一般事項 他の部位との取合い等 既存床の撤去・下地補修 工法 既存壁の撤去及び下地補修 工法 木下地等 一般事項	* 既存間仕切壁の撤去に伴う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度 ・ 図示による * 天井内の既存壁撤去に伴う天井改修範囲 ※ 壁面から両側600mm程度 ・ 図示による * 天井撤去に伴う壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示による * ビニル床シート等の除去における下地モルタルの撤去 ※ 図示による ・ () * 合成樹脂塗床材の除去等の工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 ・ 図示による * 改修後の床清掃範囲 ※ 図示による ・ () * 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ モルタル塗り [4.4.9] ・ () ・ 図示による * 間伐材 樹種 ○ 杉（愛知県内産、長野県下伊那郡根羽村産、その他の安城市交流自治体地域産） * 見え掛り面の表面の仕上げ程度〔機械加工〕 ・ 図示による 適用箇所 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ A種 ・ B種 ・ C種 [表6.5.1] * 見え掛り面の表面の仕上げ程度〔手加工〕 内部造作材 ※ H-B種 ・ () 下地材 ※ H-C種 ・ () [表6.5.2] * 含水率 ※ A種 ・ B種 [表6.5.3] * 製材 (2)(ア) 「製材のJAS」による製材 下地用針葉樹製材 樹種、寸法、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ※ 図示による ※ 2級 造作用針葉樹製材 樹種、寸法、等級、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 板材における等級 ※ 枠、額縁、敷居、鴨居、框の類の見掛け面は上小節、それ以外は小節以上 広葉樹製材 樹種、寸法、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ※ 図示による ※ 1等 ・ () 含水率 ※ 10%以下 ・ 図示による ・ () (2)(イ) 「製材のJAS」以外の製材 下地、造作及び仕上げに用いる製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理及び含水率 ※ 図示による 造作材の材面の品質の基準 ※ A種 ・ B種 [表6.5.4] (3)(ア) * 造作用集成材 「集成材のJAS」による造作用集成材 造作用集成材 品名、樹種、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による ・ () 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による ・ () 化粧ばり構造用集成柱 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による (3)(イ) 「集成材のJAS」以外の造作用集成材 造作用集成材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・ 図示による ・ () 樹種、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・ 図示による ・ () 化粧ばり構造用集成柱 樹種、寸法、見付け材面の品質、化粧薄板の厚さ ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・ 図示による ・ () (4)(ア) * 造作用単板積層材 「単板積層材のJAS」に基づく造作用単板積層材 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による (4)(イ) 「単板積層材のJAS」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による 含水率 ※ 14%以下 ・ 図示による ・ () (5) * 直交集成板 品名、曲げ強度、種別、接着性能（使用環境）、樹種及び寸法 ※ 図示による (6) * 合板等 下地用普通合板 品名、単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 厚さ ※ 5.5mm ○ 図示による 接着の程度 ※ 1類 ・ 図示による 板面の品質 ※ 2等以上（広葉樹） ※ C-D以上（針葉樹） ・ 図示による 湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度 ※ 1類 ・ 図示による 下地用構造用合板 品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理、強度等級 ※ 図示による 厚さ ※ 12mm ○ 図示による 接着の程度 ※ 1類（湿潤箇所を除く） ※ 特類（湿潤箇所） ・ 図示による 等級 ※ 2级以上 ・ () 板面の品質 ※ C-D以上 ・ () 化粧ばり構造用合板 品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度、防虫処理 ※ 図示による 湿潤状態となる場合に使用する場合の接着の程度 ※ 特類 ・ 図示による 天然木化粧合板 厚さ、接着の程度、化粧板に使用する単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 特殊加工化粧合板 品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法、防虫処理 ※ 図示による	
			ガラスの寸法、形状等	
			工法	
			ガラスブロック積み	
			* ガラス留め材	
			* 板ガラスをはめ込む溝の大きさ	
* 熱線反射ガラスの映像調整				
* 材料				
8	8.1 8.2 8.3 8.4 8.5 8.6	一般事項 他の部位との取合い等 既存床の撤去・下地補修 工法 既存壁の撤去及び下地補修 工法 木下地等 一般事項	* 既存間仕切壁の撤去に伴う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度 ・ 図示による * 天井内の既存壁撤去に伴う天井改修範囲 ※ 壁面から両側600mm程度 ・ 図示による 	

章	項 目	特 記 事 項	備 考
6	10節 合成樹脂塗床		
	6.10.3 工 法	*弾性ウレタン樹脂系 仕上げの種類 ※ 平滑 ・ 防滑 ・ つや消し ・ 図示による [表6.10.4] *エポキシ樹脂系 工法 ・ 薄膜流しのべ ・ 厚膜流しのべ ・ 樹脂モルタル ・ 図示による 仕上げの種類 ・ 平滑 ・ 防滑	
	11節 フローリング張り		
	6.11.2 材 料	*種類 ・ 単層フローリング（ ・ フローリングボード1等 ・ フローリングブロック1等） ・ 複合フローリング ・ フローリングブロック(塗装品)	
	6.11.3 工法一般	*工法 ・ 釘留め（根太張り）工法 ・ 釘留め（直張り）工法 ○ 接着工法 ・ 図示による	
	6.11.4 釘留め工法	*根太張り工法 樹種 ※ なら ・ （ ） ・ 図示による 複合フローリングの種類別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 [表6.11.2] *直張り工法 樹種 ※ なら ・ （ ） ・ 図示による 複合フローリングの種類別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 [表6.11.4]	
	6.11.5 接着工法	*フローリングの樹種 ※ なら ・ （ ） ・ 図示による *フローリングブロック樹種、厚さ、大きさ ・ 図示による ・ （ ） *フローリング裏面の緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート ・ （ ） ・ 図示による	
	6.11.6 現場塗装仕上げ	*塗装 ○ 図示による ○ (ウレタン樹脂ワス)	
	12節 畳敷き		
	6.12.2 材 料	*畳の種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種（畳床の記号： ） [表6.12.1]	
装 改 修 工 事	13節 セッコウボード等張り		
	6.13.2 材 料	*ボード類の種類、厚さ等 ※ 図示による *普通合板 表板の樹種名、板面の品質、厚さ、接着の程度、防虫処理 ※ 図示による ・ （ ） *天然木化粧合板 化粧板の樹種名、接着の程度、厚さ、防虫処理 ※ 図示による ・ （ ） *特殊加工化粧合板 化粧板の樹種名、接着の程度、厚さ、防虫処理 ※ 図示による ・ （ ） *遮音シール材（軽鉄下地ボード遮音壁） ・ アクリル系 ・ ウレタン系 ○ ジョイントコンパウンド(JIS A 6914) *下地 ○ 軽量鉄骨下地 ・ 木下地 ・ （ ） ・ 図示による *合板類の張付け種別 ・ A種 ※ B種 [表6.13.3] *セッコウボードの目地工法の種類 ○ 継目処理工法 ○ 突付け工法 ・ 目透し工法 [表6.13.5]	
	14節 壁紙張り		
	6.14.2 材 料	*壁紙の種類 ※ 図示による ・ （ ） *防火性能 ・ 図示による ・ （ ）	
	6.14.3 施 工	*コンクリート面の下地調整 種別 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 [表7.2.5] *セッコウボード面の下地調整 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 [表7.2.7]	
	15節 モルタル塗り		
	6.15.3 材 料	*モルタル ・ 現場調査材料 ・ 既調査材料（ ） ・ 図示による *既製目地材 ・ 使用する（形状： ） ・ 使用しない ・ 図示による	
	6.15.5 下地処理	*壁面の場合で、仕上げ厚又は全塗り厚が6.15.4(3)の規定を満足しない場合 ・ 図示による	
	6.15.6 工 法	*床の目地割り ※ 目地割2m程度、最大目地間隔3m程度 ・ （ ） ・ 図示による 種類 ※ 押し目地 ・ （ ） ・ 図示による	
	16節 タイル張り		
	6.16.2 施工一般	*伸縮目地の位置 ※ 縦横4m以内ごと（床タイル） ・ （ ） ・ 図示による	
	6.16.3 セメントモルタルによるタイル張り	*タイル ※ 図示による *役物 ・ 有 ・ 無 試験張り ・ 有 ※ 無 見本焼き ・ 有 ※ 無 *張付けモルタル 既調査モルタル（ ） *下地モルタル塗りのコンクリート素地面処理 ・ 目荒し工法 ・ （ ） ・ 図示による *タイル 適用箇所 形状 寸法 耐凍害性 耐滑り性 標準色/特別色 タイル張り工法 ※ 図示による *役物 ・ 有 ・ 無 試験張り ・ 有 ※ 無 見本焼き ・ 有 ※ 無	
	17節 セルフレベリング材塗り		
	6.17.2 材 料	*種類及び品質 ・ セッコウ系 ・ セメント系 ・ 図示による	[表6.17.1]
	6.17.3 調査及び塗厚	*セルフレベリング材標準塗厚 ・ （ ） ・ 図示による	

7	2節 下地調整		
	7.2.1 施工一般		
	7.2.2 木部の下地調整	*RB種塗替えの場合の既存塗膜の撤去範囲 ※ 塗替え面積の30% ・ 図示による	
	7.2.3 鉄鋼面の下地調整	*木部の下地調整種別 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ 図示による [表7.2.1] *鉄鋼面の下地調整種別 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ 図示による [表7.2.2]	
	7.2.4 亜鉛めっき鋼面の下地調整	*亜鉛めっき鋼面の下地調整種別 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ 図示による [表7.2.3]	
	7.2.5 モルタル面及びグラスター面の下地調整	*モルタル面及びグラスター面の下地調整種別 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ 図示による [表7.2.4] ひび割れ部の補修（ ）	
	7.2.6 コンクリート面、ALCパネル面の下地調整	*コンクリート面、ALCパネル面の下地調整種別[DP塗り以外] ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ 図示による [表7.2.5] ひび割れ部の補修（ ）	
	7.2.7 セッコウボード面、その他ボード面の下地調整	*コンクリート面[DP塗り]、押出成形セメント板面の下地調整種別 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 図示による [表7.2.6] ひび割れ部の補修（ ） *セッコウボード面及びその他ボード面の下地調整種別 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ 図示による [表7.2.7]	
	3節 錆止め塗料塗り		
	7.3.2 塗料種別	*鉄鋼面錆止め塗料種別[EP-G塗りの場合] ・ A種 ※ B種 ・ 図示による [表7.3.1] *亜鉛めっき鋼面錆止め塗料種別 ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 図示による [表7.3.2] *亜鉛めっき鋼面錆止め塗料種別[EP-G塗りの場合] ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ 図示による [表7.3.3] *鉄鋼面錆止め塗料塗り 見え掛け部（新規） ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 図示による 見え隠れ部（新規） ・ A種 ※ B種 ・ C種 塗替え ・ A種 ・ B種 ※ C種 [表7.3.4] *亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗り 鋼製建具等 ※ A種 ・ B種 ・ C種 塗替え ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ 図示による	

4節 合成樹脂調査ペイント塗り (SOP)			
7.4.2 塗料の種類	*塗料の種類 ※ 1種 ・ 2種		

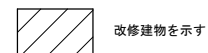
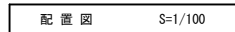
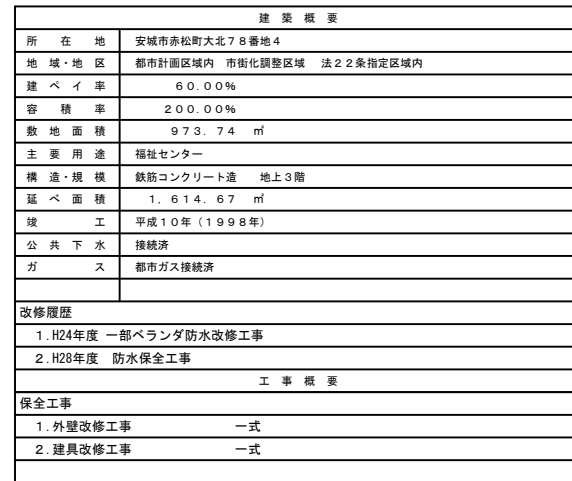
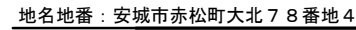
章	項 目	特 記 事 項	備 考
7	7.4.3 木部SOP	*種別[新規] ・ 図示による 屋外 ※ A種 ・ B種 ・ C種 [表7.4.1] 屋内 ・ A種 ※ B種 ・ C種 [塗替え] ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による	
	7.4.4 鉄鋼面SOP	*種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による [表7.4.2]	
	7.4.5 亜鉛めっき鋼面SOP	*種別 鋼製建具塗替え ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 図示による [表7.4.3] それ以外の塗替え及び新規塗り ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による	
	5節 クリヤラッカー塗り(CL)		
	7.5.2 クリヤラッカー塗り	*種別 ・ A種 ※ B種 ・ 図示による [表7.5.1]	
	7節 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		
	7.7.2 NAD	*種別 ・ A種 ※ B種 ・ 図示による [表7.7.1]	
	8節 耐候性塗料塗り (DP)		
	7.8.2 鉄鋼面DP	*種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ○ 図示による 上塗り塗料の等級 ※ 1種 ・ 2種 ・ 3種 [表7.8.1]	
	7.8.3 亜鉛めっき鋼面DP	*種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 図示による 上塗り塗料の等級 ※ 1種 ・ 2種 ・ 3種 [表7.8.2]	
装 改 修 工 事	7.8.4 コンクリート面及び押出成形セメント板面DP	*種別 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ 図示による [表7.8.3]	
	9節 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)		
	7.9.2 コンクリート、モルタル、グラスター、セッコウボード面等EP-G	*種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による [表7.9.1] *塗替えのしき止め ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 図示による 下塗り（ ）	
	7.9.3 木部EP-G	*種別 新規 ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 図示による [表7.9.2] 塗替え ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による	
	7.9.4 鉄鋼面EP-G	*種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による [表7.9.3]	
	7.9.5 亜鉛めっき鋼面EP-G	*種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による [表7.9.4]	
	10節 合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)		
	7.10.2 合成樹脂エマルションペイント塗り	*種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による [表7.10.1] *塗替えのしき止め ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 図示による 下塗り（ ）	
	11節 合成樹脂エマルション模倣塗料塗り (EP-T)		
	7.11.2 コンクリート、モルタル、グラスター、セッコウボード面等	*種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による [表7.11.1]	
耐 震 改 修 工 事	12節 ウレタン樹脂ワス塗り(UC)		
	7.12.2 ウレタン樹脂ワス塗り	*種別 ・ A種 ※ B種 ・ 図示による [表7.12.1]	
	13節 オイルステン塗り(OS)		
	7.13.2 オイルステン塗り	*塗料 ・ 図示による ・ （ ） [表7.13.1]	
	15節 木材保護塗料塗り(WP)		
	7.15.2 木材保護塗料塗り	*種別 ・ A種 ※ B種 ・ 図示による [表7.14.1]	
	1節 共通事項		
	8.1.2 基本要品質	*耐震改修工事標準図が添付されている場合はこれを優先する。 *受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合の工場選定は以下による。 (1) J I Sマーク表示認証製品を製造している工場（工業標準化法の一部を改正する法律（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により製品にJ I Sマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場）で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる、全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場（以下「適マークを取得した工場」という。）から選定し、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するものを用いなければならない。 (2) J I Sマーク表示認証製品を製造し、適マークを取得した工場が工事現場近くに見当たらない場合は、使用する工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたい。その資料により監督職員の確認を得なければならない。なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。	
	8.1.3 コンクリートの種類	*コンクリートの種別 ※ I類 ・ II類 ・ 大臣認定コンクリート（ ） [表8.1.1] *コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート	
	8.1.4 コンクリートの品質	*設計基準強度 (Fc) ・ 普通コンクリート（ ） N/mm ² ・ 軽量コンクリート（ ） N/mm ² ・ 図示による *コンクリートの荷重し地点におけるスランプ ※ 表8.1.2による ・ （ ） ・ 図示による *合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による [表8.1.4] *コンクリートの仕上りの平たんさの種別 ・ a種 ・ b種 ・ c種 ・ 図示による [表8.1.5]	
	8.1.5 鉄骨製作工場	*鉄骨製作工場の加工能力等（ ）	
	8.1.6 鉄骨製作工場における施工管理技術者	*施工管理技術者の配置 ※ 必要 ・ 不要	
工 事	2節 材 料		
	8.2.1 鉄 筋	*鉄筋種類 ※ 図示による ・ （ ） [表8.2.1]	
	8.2.2 溶接金網	*鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 ※ 図示による ・ （ ）	
	8.2.4 あと施工アンカー	*あと施工アンカー ・ 金属系アンカー ・ 接着系アンカー ・ 図示による *金属系アンカーの仕様 引張耐力、せん断耐力 ・ 図示による ・ （ ） アンカー本体の径、埋込み長さ ・ 図示による ・ （ ） セット方式 ※ 本体打込み式改良型 ・ （ ） ・ 図示による 接合筋の種類、径、長さ ・ 図示による ・ （ ） *接着系アンカーの仕様 引張耐力、せん断耐力 ・ 図示による ・ （ ） アンカーの種類 ※ ガブセル方式回転・打撃式 ・ （ ） ・ 図示による アンカーの径、埋込み長さ ・ 図示による ・ （ ） アンカー筋の種類 ・ （ ） ・ 図示による アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ （ ） ・ 図示による	
	8.2.5 コンクリートの材料及び調査	*あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない *セメントの種類 ※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント(A種) ・ シリカセメント(A種) ・ フライアッシュセメント(A種) ・ エコセメント [表8.2.3]	

検 図	製 図	設 計	社会福祉会館外部保全工事	図面番号 0 7
			建築改修工事特記仕様書 6 / 8	
			縮尺	

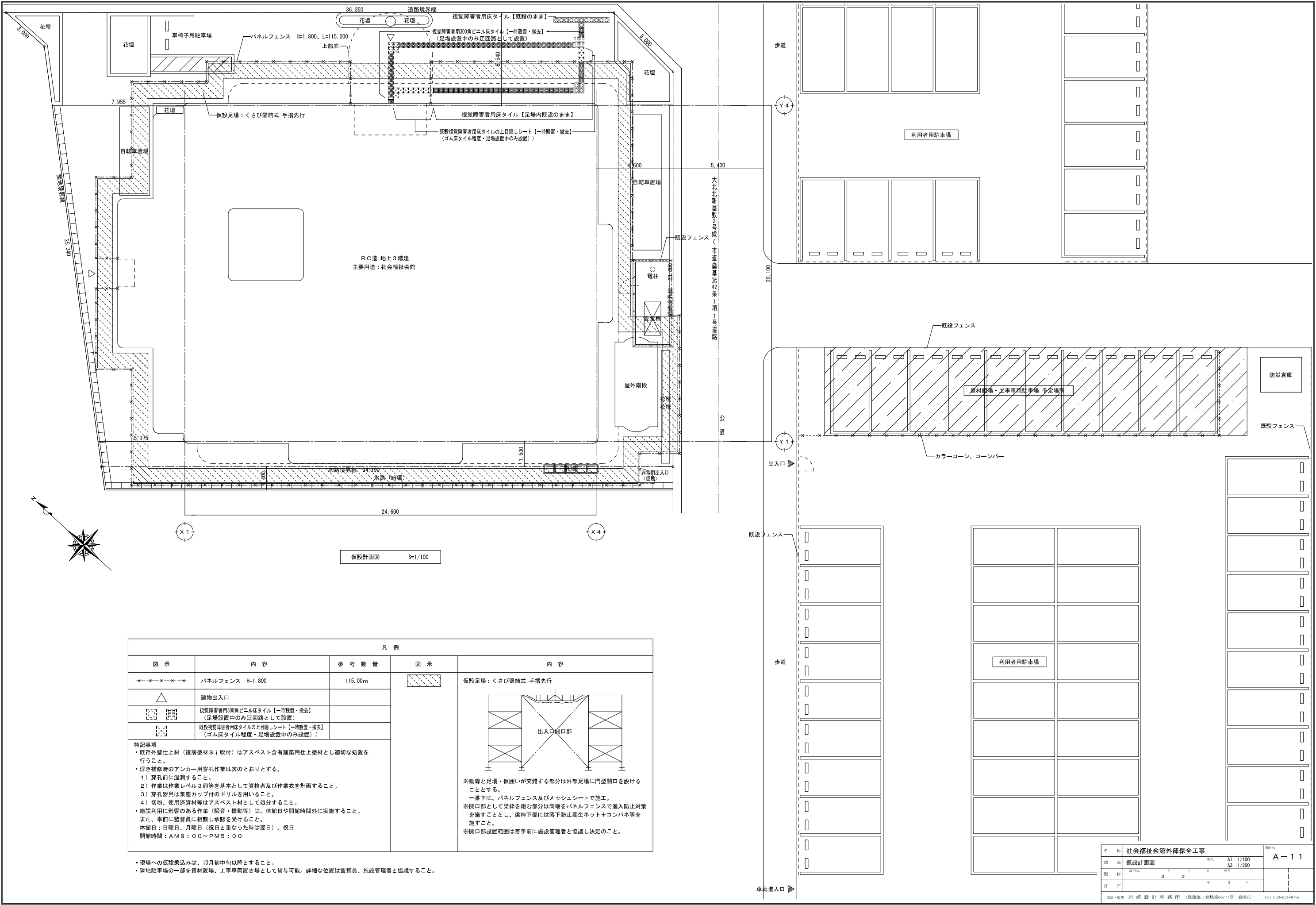
章	項 目	特 記 事 項	備 考
8	8.26.6 既存部分の処理	* 既存杭の撤去範囲及び撤去方法 ※ 図示による ・ () * 打継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度 ※ 図示による ・ ()	
	8.26.7 支承材・減衰材	* 既存杭の杭頭部等の処理 ※ 図示による ・ () * 支承材又は減衰材の材質、諸元 ※ 図示による ・ () * 性能確認試験の項目及び数量 ・ () ・ 図示による	
	8.26.10 支承材又は減衰材の設置	* 製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等 ・ 図示による ・ () * 防錆処理 ・ () ・ 図示による * 支承材又は減衰材の設置位置の寸法許容差 ・ () ・ 図示による * 割裂補強筋の適用 ・ 適用する ・ 適用しない * コンクリート打込み工法 ・ 流込み工法 ・ 圧入工法 ・ 図示による	
	8.26.13 仕上げ	* 支承材又は減衰材設置後の仕上げ ・ 図示による ・ ()	
	8.26.14 耐火被覆	* 支承材への耐火被覆の適用 ・ 適用しない ・ 適用する (仕様：) ・ 図示による	
	8.26.15 免震EXPJ等	* 免震部分周囲の鉄骨ジョイントの仕様、工法等 ※ 図示による ・ ()	
	8.26.16 検 査	* 検査の項目及び数量 ・ () ・ 図示による	
	8.26.17 維持管理要領	* 記載する項目 ※ 8.26.17(2)による ・ () * 地震計、下げ振り、けがき板、別置き試験体等の設置及び仕様 ※ 図示による ・ ()	
	27節 制振改修工事		
	8.27.2 既存部分の撤去等	* 既存鉄筋コンクリート及び既存鉄筋鉄骨コンクリートの撤去等 既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲 ・ 図示による ・ () 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ・ 図示による ・ () 既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・ () はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ・ () * 既存鉄骨の撤去範囲及び撤去方法 ※ 図示による ・ () * 既存鉄骨の処置 ※ 図示による ・ ()	
9	8.27.3 既存部分の処理	* 打継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度 ※ 図示による ・ ()	
	8.27.4 減衰材	* 減衰材の材質、諸元 ※ 図示による ・ () * 性能確認試験の項目及び数量 ・ () ・ 図示による	
	8.27.6 減衰材の設置	* 製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等 ・ 図示による ・ () * 防錆処理 ・ () ・ 区設置位置の寸法許容差 ・ 図示による ・ () * 割裂補強筋の適用 ・ 適用する ・ 適用しない * コンクリート打込み工法 ・ 流込み工法 ・ 圧入工法 ・ 図示による	
	8.27.8 仕上げ	* 減衰材設置後の仕上げ ・ 図示による ()	
	8.27.9 検 査	* 検査の項目及び数量 ・ 図示による ()	
	28節 土工事及び地業工事		
	8.28.2 既存杭の撤去等	* 既存杭の撤去範囲及び撤去方法 ※ 図示による ・ () * 既存杭の杭頭部等の処理 ※ 図示による ・ () * 既存杭の補強 ※ 図示による ・ () * 既存杭の健全性を確認する試験 ・ 行う ・ 行わない * 埋戻し及び盛土の材料、工法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 図示による [表8.28.1] * 処分にあたっては「リサイクルガイドライン」に基づき、適正に処理する。 * 建設発生土の処理 ・ 構外搬出 (関係法令に従い適切に処理) (搬出先：) (搬出条件：)	
	8.28.3 土工事	* 鋼矢板等の抜き跡の処理 ※ 直ちに砂を充填 ・ () ・ 図示による 山留め壁等の存置 ※ 無 ・ 有 ・ 図示による * 試験杭 位置 ※ 図示による 本数 ※ 図示による ・ () 寸法 () m * 試験杭の施工方法 ※ 図示による ・ () * 杭の載荷試験 ・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験 試験杭の位置、本数、積載荷重 ※ 図示による ・ () 8.28.4(2)(i)以外の報告書の記載事項 () * 地盤の載荷試験 ・ 平板載荷試験 ・ 行わない 試験位置 ※ 図示による 載荷荷重 ※ 図示による ・ () 8.28.4(2)(i)以外の報告書の記載事項 ()	
	8.28.4 地業工事	* 杭地業の工法 ※ 図示による ・ () * 支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ、水平方向の位置ずれの精度 ※ 図示による ・ () * 杭の寸法 ※ 図示による ・ () * 技能資格者の技量及び溶接部の確認 () * 杭頭処理 ※ 図示による ・ () ・ 無し * 本杭の施工方法 ※ 図示による ・ () * 記録する施工状況等 () * 砂利及び砂地業 範囲 ※ 図示による 厚さ ※ 60mm ・ () mm ・ 図示による * 捨コンクリート 範囲 ※ 図示による 厚さ ※ 50mm ・ () mm ・ 図示による	
	1節 石綿含有建材の除去工事		
9	9.1.1 一般事項	* 大気汚染防止法に基づき、適正に対応すること 適用範囲 ※ 図示による ・ () * 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示による ・ () * 石綿含有建材の調査範囲等 ※ 図示による ・ () 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与等 ・ あり ・ なし 分析による石綿含有調査を行う場合の分析方法 ・ 図示による () () (外壁吹付材部については調査報告書の貸与が可能) () (アスベスト含有が疑われる材料について施工調査を実施する)	

章	項 目	特 記 事 項	備 考
9		* 石綿粉じん濃度測定 ・ 行う () 行わない 測定時期 測定場所 測定箇所数 備 考 処理作業前 ① 施工区画周辺又は敷地境界 4 方向各 1 点 注 1) 注 4) ② セキュリティーゾーン入口 1 点 空気の流れを確認 注 1) 処理作業中 ③ 集じん・排気装置の排出口 1 点 集じん・排気装置の性能確認 (処理作業室外の場合) 注 1) ④ 施工区画周辺又は敷地境界 4 方向各 1 点 注 1) 処理作業後 ⑤ 処理作業室 (隔離された区域) 内 2 点 注 3) 隔離シート撤去前 注 2) 注 1) 速報値で10f/L以上検出された場合は、直ちに作業を中止し、その原因を確認すること。 注 2) 各施工箇所ごとの室内面積が10㎡以下の場合は 1 点、50㎡までは 2 点、300㎡以下までは 3 点とする。 300㎡を超えるものは、300㎡ごとに 1 測定点を追加する。 注 3) 粉じん測定は、粉じん飛散抑制剤を散布した翌日とし、速報値で10 f /L以下であることを確認した後、シートの撤去を行うこと。 注 4) 処理作業前の測定については、監督員との協議による。 * 石綿則第6条による隔離措置と「同等以上の効果を有する措置」により除去等作業を行う場合、上表のうち、①及び④を実施する。 * 粉じん濃度測定結果報告書の提出部数 ※ 2部 ・ ()部 * 石綿作業主任者は、法令に基づき、労働者の指揮、作業方法の指導等、必要な措置を行うこと。 特に、主たる工事が石綿対策工事の場合は、自社所属の石綿作業主任者を選任すること。 * 監督職員等の保護具、保護衣等は、受注者が無償で準備すること。 * 除去工法 ※ 図示による ・ 9.1.3(2)(7)による ・ () * 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固化 ・ 図示による * 除去した石綿含有吹付け材等の処分方法 ・ 9.1.3(3)(i)(a)による ・ 9.1.3(4)(i)(b)による * 除去工法 ※ 図示による ・ () * 除去した石綿含保温材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固化 ・ 図示による * 除去した石綿含保温材等の処分方法 ・ 9.1.3(3)(i)(a)による ・ 9.1.3(4)(i)(b)による * 除去した石綿含有成形板 (石綿含有せっこうボードを除く) の処分 ・ 埋立処分 ・ 中間処分 ・ 図示による	
	9.1.2 除去工事共通事項	2節 断熱アスファルト防水改修工事 9.2.3 改修工法の種類・工程 3節 外断熱改修工事 9.3.2 材 料	
	9.1.3 石綿含有吹付け材の除去	* 防水改修工法の種類 ・ P1B I ・ P2A I ・ P0D I ・ T1B I ・ M3D I ・ M4D I ・ 図示による [表3.1.1]	
	9.1.4 石綿含有保温材等の除去	* 断熱材の種類及び厚さ ※ 図示による ・ () * 外装材の種類及び防火性能 ※ 図示による ・ () * 仕上材の撤去 ※ 図示による ・ () * 下地面の清掃 ※ 図示による ・ () * 断熱材設置部分の下地に欠損部がある場合の改修工法の種類 ※ 図示による ・ () (4.1.4) * 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 () * 不陸等の下地調整 ※ 図示による ・ () * 断熱材の施工 ※ 図示による ・ () * 外装材の施工 ※ 図示による ・ () * 通気層の有無、厚さ ※ 図示による ・ () * 外装材の外壁への取り付け ※ 図示による ・ ()	
	9.1.5 石綿含有成形板の除去	* 複層ガラスの材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性、日射遮蔽性による区分、乾燥気体の種類 ※ 図示による ・ ()	
	9.3.3 既存外壁の処置	5節 断熱・防露改修工事 9.5.2 断熱材打込み工法 9.5.3 断熱材現場発泡工法	
	9.3.4 工 法	* 断熱材の種類及び厚さ ※ 図示による ・ () * 断熱材の種類 ・ 図示による ・ () * 吹付け厚さ ・ () mm ・ 図示による * 断熱材の種類及び厚さ ※ 図示による ・ () 断熱材に石膏ボード等を張り付けたパネルを使用する場合 ※ 図示による ・ ()	
	4節 ガラス改修工事	6節 屋上緑化改修工事 9.6.2 材 料	
	9.4.2 材 料	* 芝及び地被類の種類等 ※ 図示による ・ () * 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示による ・ () * 建設省告示第1458号に基づく風圧力に対応した工法 ※ 図示による ・ () * かん水装置の設置及び種類 ※ 図示による ・ () * 既存保護層等の撤去工法 ※ 図示による ・ () * 枯補償の期間 ※ 引渡しの日から1年 ・ ()	
	5節 断熱・防露改修工事	7節 透水性アスファルト舗装改修工事 9.7.2 既存舗装の撤去及び再利用 9.7.3 路 床	
9	9.7.4 路 盤	* 既存舗装の撤去 ・ 行わない () 行う ※ 図示による ・ () * 既存舗装の再利用 () 行わない ・ 行う ※ 図示による ・ () * 凍上抑制層の適用及び厚さ ※ 図示による ・ () * 透水性舗装に用いるフィルター層厚さ ※ 図示による ・ () * 路床安定処理の適用及び方法 ※ 図示による ・ () * 盛土材料の種類別 ・ A種 () B種 () C種 () D種 () 図示による ・ () [表8.28.1] * 凍上抑制層及び透水性舗装のフィルター層の材料 ※ 図示による ・ () * 砂の粒度試験 () 行わない ・ 行う * 路床安定処理用添加材料 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 図示による ・ 生石灰特号 ・ 生石灰 1 号 ・ 消石灰特号 ・ 消石灰 1 号 * 路床土の C B R 試験 () 行わない ・ 行う * 路床締固め度試験 () 行わない ・ 行う * 現場 C B R 試験 () 行わない ・ 行う * 路盤の厚さ ※ 図示による ・ () * 路盤材料 種別 ・ 図示による ・ () * 舗装の構成 ※ 図示による ・ () * 舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの ・ () * 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない	
	9.7.5 舗装の構成及び仕上り		
	9.7.9 試 験		

[illegible]



名 称	社会福祉会館外部保全工事			図面No.	A-10
内 容	案内図・工事概要・配置圖 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200				
製 作	設計No.	年 月 日	担当		
訂 正	3	2	年 月 日		
設計・監理 岩崎設計事務所 1級建築士登録番号66771号 岩崎延一 Tel 052-231-8787					

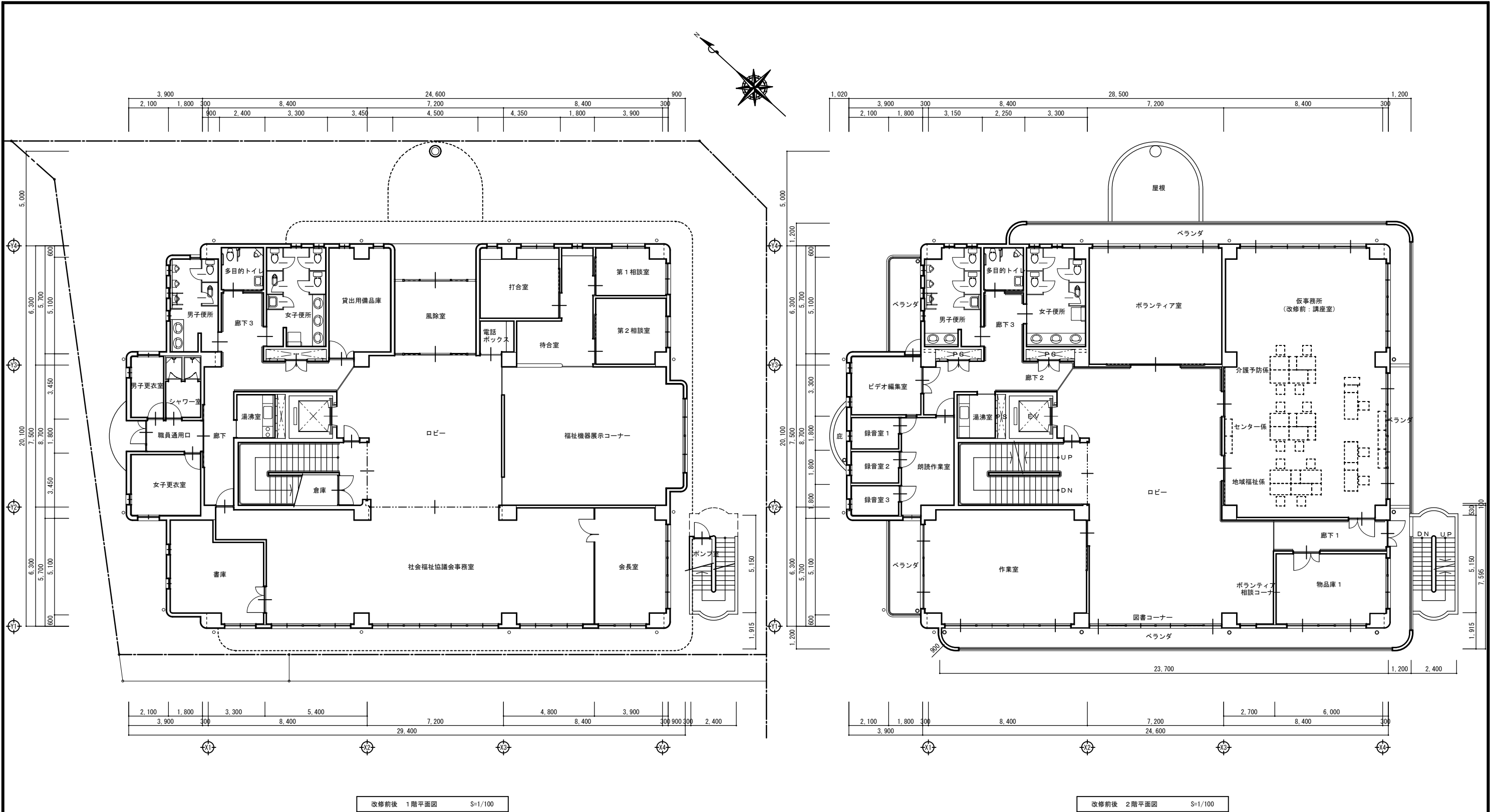


凡 例			
図 示	内 容	参 考 数 量	図 示
※—※—※—※—※	パネルフェンス H=1,800	115.00m	△
△	建物出入口		△
□	視覚障害者用300角ビニル床タイル【一時設置・撤去】 (足場設置中のみ迂回路として設置)		△
□	既設視覚障害者用床タイルの上目隠しシート【一時設置・撤去】 (ゴム床タイル程度・足場設置中のみ設置)		△
特記事項			
・既存外壁仕上材（複層塗材S i 吹付）はアスベスト含有建築用仕上塗材とし適切な処置を行うこと。			
・浮き補修時のアンカー用穿孔作業は次のとおりとする。			
1) 穿孔前に湿潤すること。			
2) 作業は作業レベル3同等を基本として資格者及び作業衣を計画すること。			
3) 穿孔器具は集塵カップ付のドリルを用いること。			
4) 切粉、使用済資材等はアスベスト材として処分すること。			
・施設利用に影響のある作業（騒音・振動等）は、休館日や開館時間外に実施すること。			
また、事前に監督員に相談し承認を受けること。			
休館日：日曜日、月曜日（祝日と重なった時は翌日）、祝日			
開館時間：AM9：00～PM5：00			

- ・現場への仮設来込みは、10月中旬以降とすること。
- ・隣地駐車場の一部を資材置場、工事車両置き場として貸与可能。詳細な位置は監督員、施設管理者と協議すること。

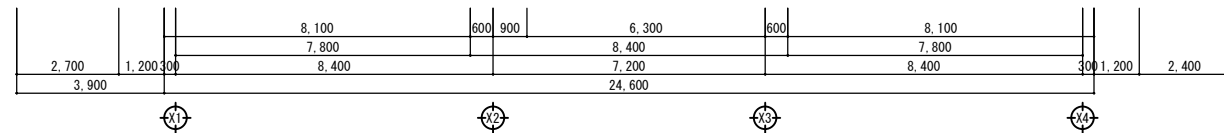
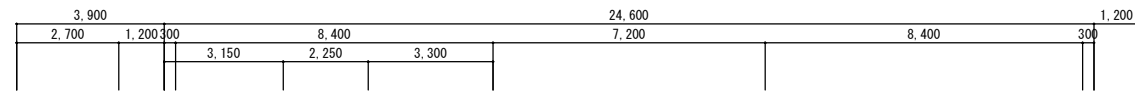
名 称	社会福祉会館外部保全工事			図面No	A-11
図 面	仮設計画面			縮尺 A1：1/100 A3：1/200	
製 作	3	2	年 月 日		
訂 正			年 月 日		
設計・監理 岩崎設計事務所 最寄路上乗降第66771号 岩崎監理 Tel. 033-431-8767					

<



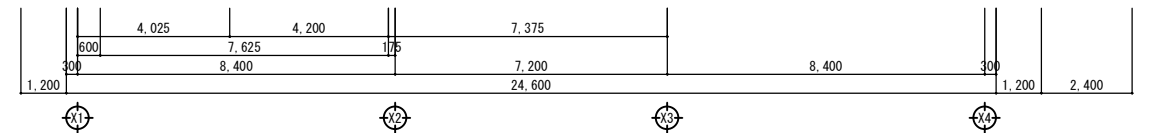
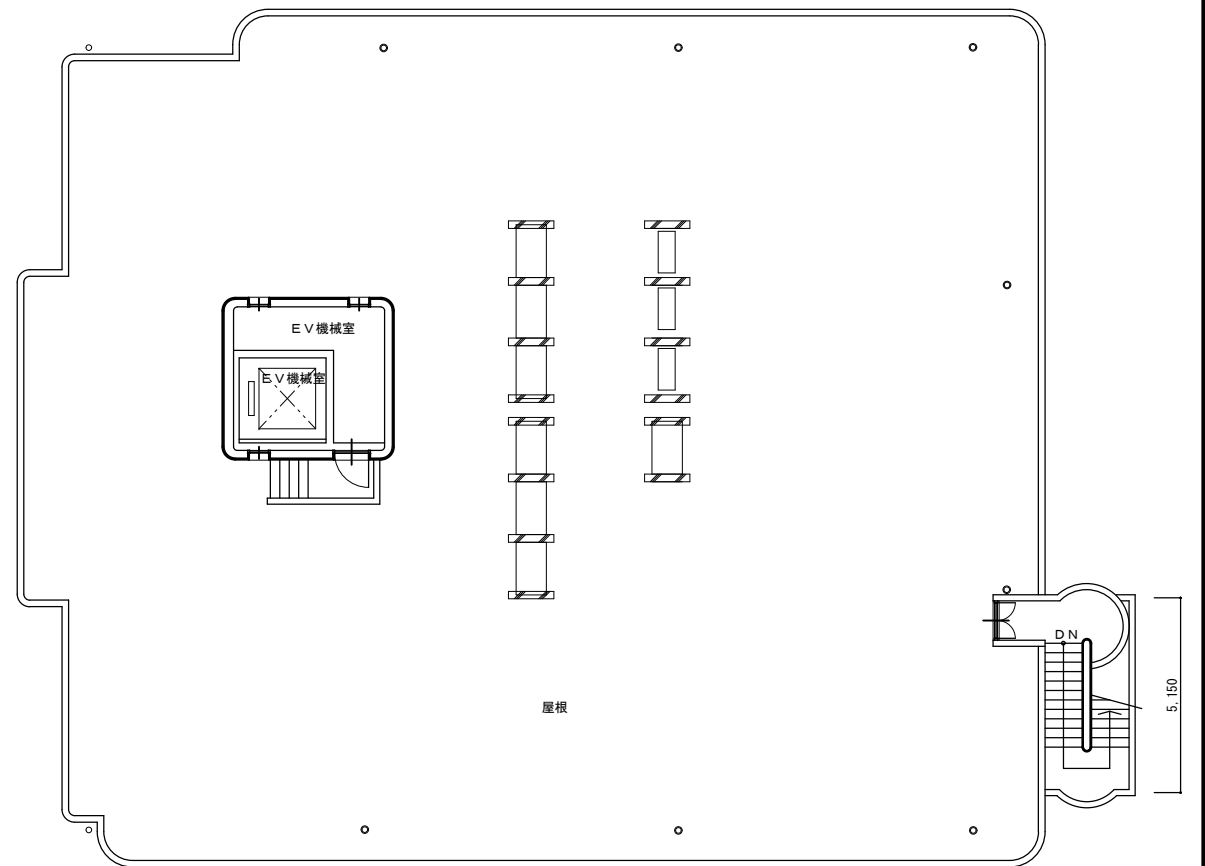
名称	社会福祉会館外部保全工事				図番No.	A-13
図名	改修前後 1、2階平面図				縮尺 A1:1/100 A3:1/200	
図番	3	2				
訂正						

設計・監理 岩崎設計事務所 1級建築士登録第66771号 岩崎 正一 T+1 052-231-9787



The figure consists of two horizontal bar charts, one for the year 2000 (top) and one for the year 2005 (bottom). Both charts show the distribution of the number of children per family. The x-axis represents the number of children (0 to 5), and the y-axis represents the number of families (0 to 1,200). The bars are labeled with their corresponding values.

Year	0 children	1 child	2 children	3 children	4 children	5 children
2000	300	8,400	7,200	8,400	300	1,200
2005	300	8,400	7,200	8,400	300	1,200



改修前後 屋上平面図 S=1/100

名 稱	社會福祉會館外部保全工事			概算価	A - 1 4
図 面	改修前後 3階、屋上平面図 南側 A1 : 1/100 A3 : 1/200				
製 作	設計No 3 2 年 月 日 担当				
訂 正					
設計・監理 岩崎設計事務所 1級建築士登録第66771号 岩崎正一 Tel 052-231-8787					

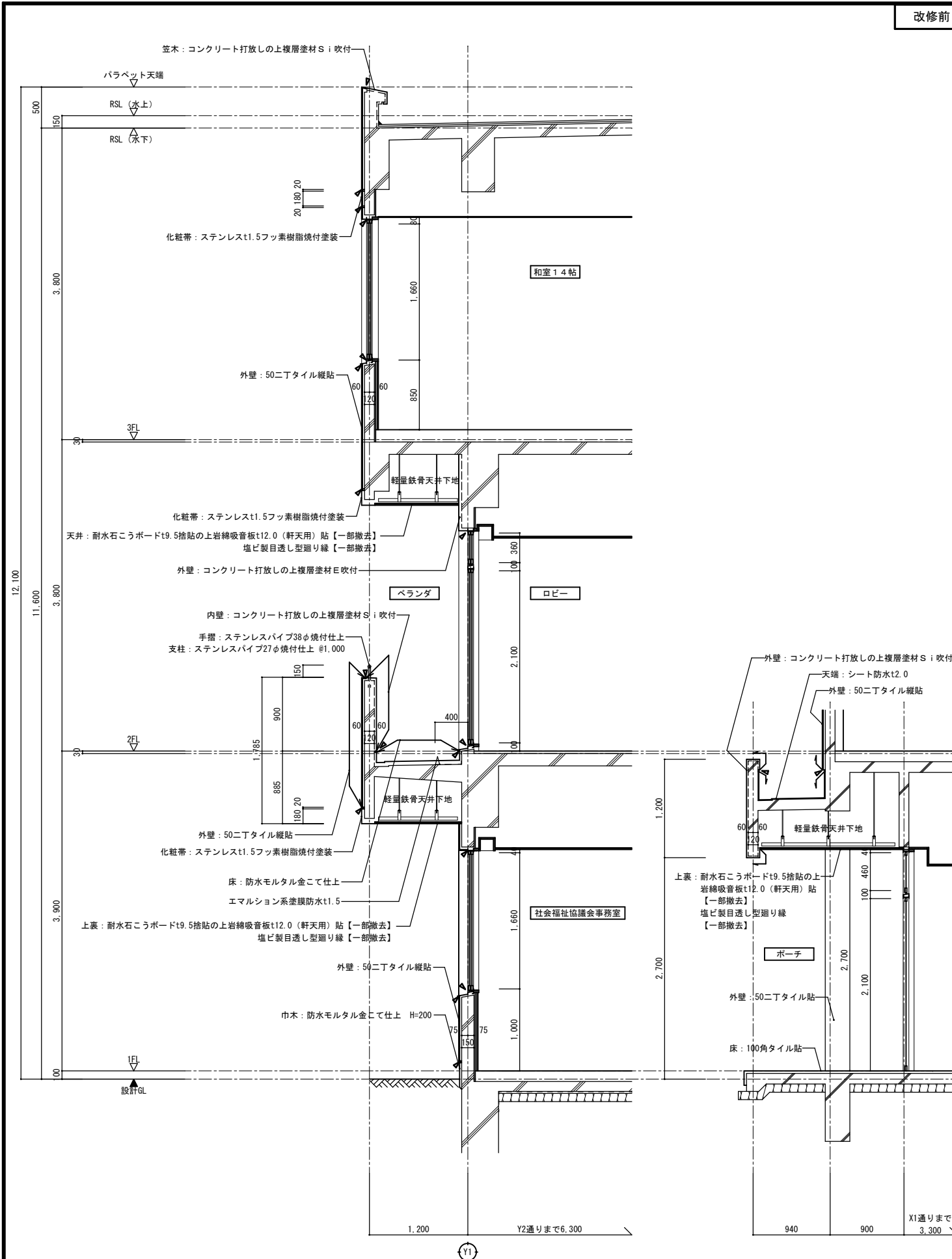


符号	仕上	符号	仕上	符号	仕上	符号	仕上	名 称	社会福祉会館外部保全工事	図 面 番 号	A1 : 1/100 A3 : 1/200	縮 小 率	A - 1 5
a	外壁：50ニ丁タイル縦貼	e	縦樋：ステンレス製パイプ75φ 隠み金物：ステンレス製φ1.200以内	i	見付・笠木：ステンレスパネル（焼付塗装）t1.5	m	館内文字：ステンレス製箱文字	図 面	改修前 立面図	縮 小 率	A1 : 1/100 A3 : 1/200		
b	外壁：コンクリート打放しの上複層塗材S i吹付	f	化粧帯：ステンレスt1.5フッ素樹脂焼付塗装 W=180	j	笠木：50ニ丁タイル貼	n	ベントキャップ100φ（3か所）、150φ（8か所）【廻りシーリング撤去】	製 図	3 2				
c	巾木：防水モルタル金こて仕上 H=200	g	化粧柱：カラーステンレスt1.5焼付仕上 一部鏡面仕上	k	笠木：カラーアルミ製 W=250	▽	打継目地シーリング【撤去】	訂 正					
d	縦樋：棟瓦端パイプ100φ、75φ V E塗装【既設のまま】 隠み金物：ステンレス製φ1.200以内【既設のまま】	h	見付：コンクリート打放しの上複層塗材S i吹付	l	手摺：ステンレスパイプ38φ焼付仕上 支柱：ステンレスパイプ27φ焼付仕上 φ1.000	▼	目地シーリング【撤去】	資料・製 図 協 設 計 事 務 所 1 般 環 衛 土 建 設 第 6 7 7 1 号 岩 崎 証 二 丁 1 0 5 2 - 2 2 1 - 9 7 3 7					



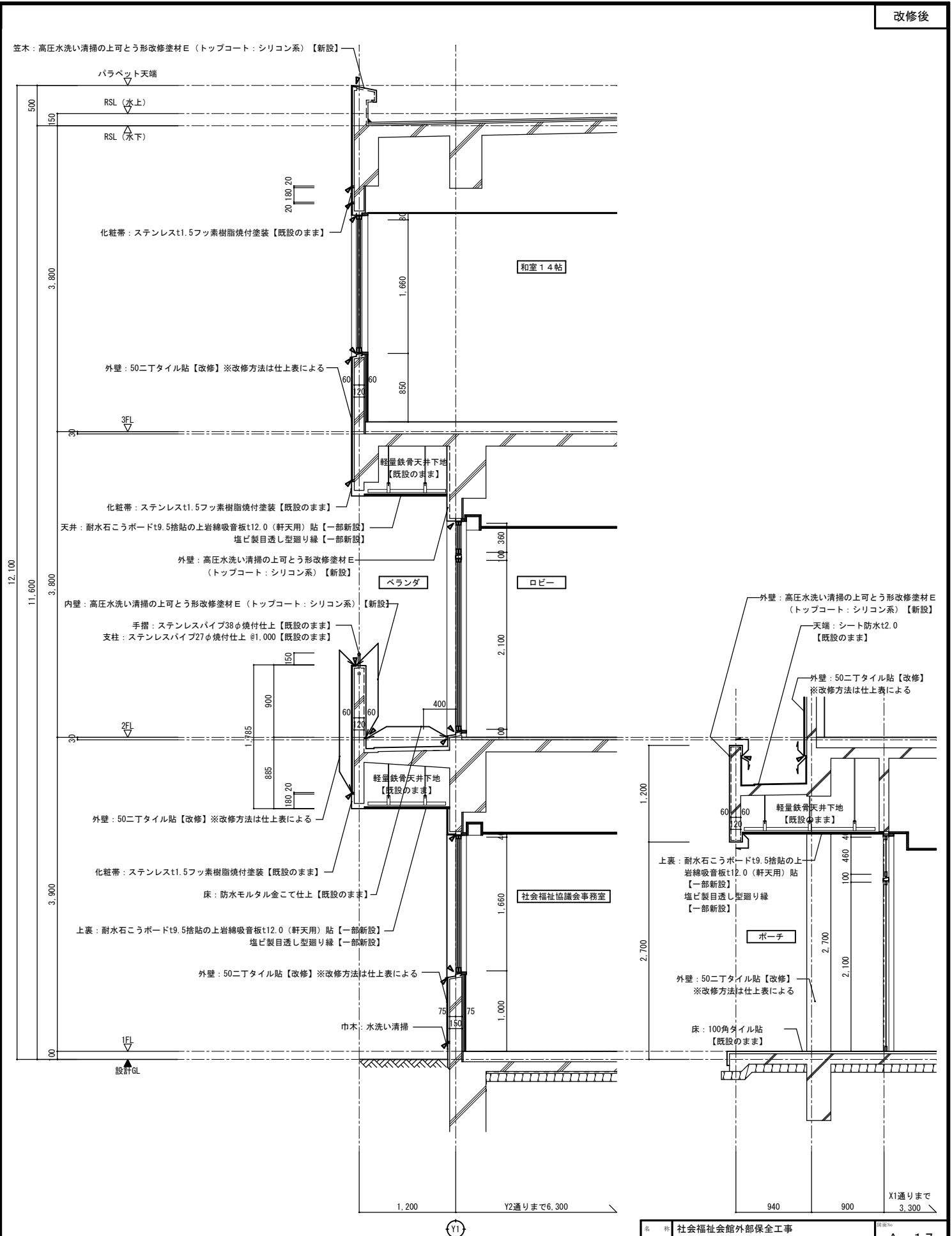
符号	仕上	符号	仕上	符号	仕上	符号	仕上	名称	社会福祉会館外部保全工事	図面No.	A-16
a	外壁：50ニ丁タイル貼【改修】※改修方法は仕上表による	e	縦樋：ステンレス製パイプ75φ【既設のまま】 横樋：ステンレス製φ120以内【既設のまま】	i	見付・笠木：ステンレスパネル（焼付塗装）t1.5【既設のまま】	m	館内文字：ステンレス製箱文字【既設のまま】	名称	社会福祉会館外部保全工事	縮尺	A1：1/100 A3：1/200
b	外壁：高圧水洗い清掃の可とう形改修塗材 E（トップコート：シリコン系）【新設】	f	化粧帯：ステンレスt1.5フッ素樹脂焼付塗装 W=180【既設のまま】	j	笠木：50ニ丁タイル貼【改修】※改修方法は仕上表による	n	ベントキャップ100φ（3か所）、150φ（8か所）【廻りシーリング新設】	図面	改修後 立面図	図面No.	A1：1/100 A3：1/200
c	巾木：水洗い清掃	g	化粧柱：カラーステンレスt1.5焼付仕上 一部鏡面仕上【既設のまま】	k	笠木：カラーアルミ製 W=250【既設のまま】	▽	打継目地シーリング（MS-2）【打替】	製作	3 2	図面No.	
d	縦樋：棟瓦端パイプ100φ、75φ V E 塗装【既設のまま】 横樋：ステンレス製φ120以内【既設のまま】	h	見付：高圧水洗い清掃の可とう形改修塗材 E（上塗：シリコン系）【新設】	l	手摺：ステンレスパイプ38φ焼付仕上【既設のまま】 支柱：ステンレスパイプ27φ焼付仕上 φ100【既設のまま】	▼	目地シーリング（MS-2）【打替】	訂正		図面No.	

改修前



▼ シーリング撤去を示す（ただし防水の端部シールは既設のまま）

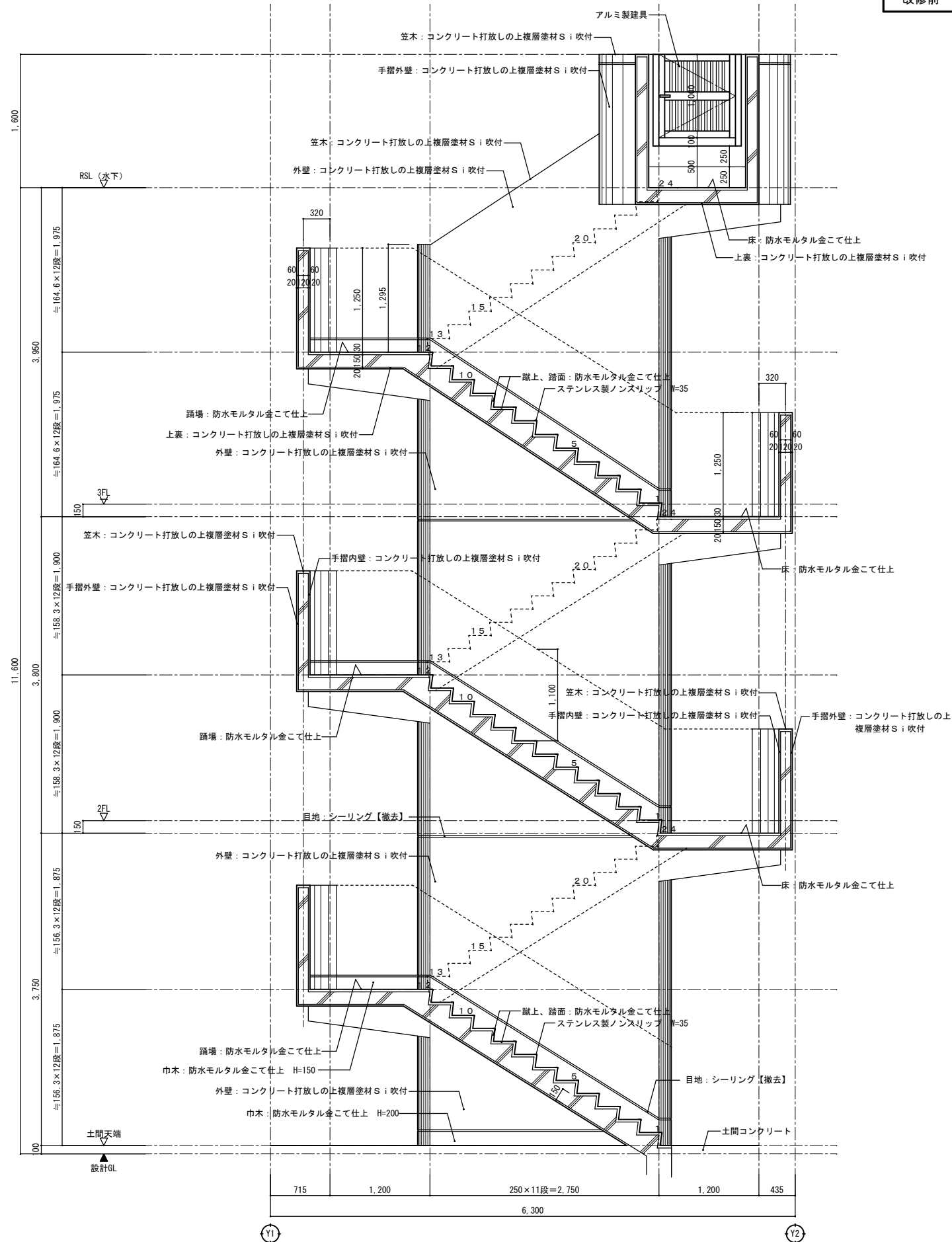
改修後



④ シーリング (MS-2) 【打替】 (ただし防水の端部シールは既設のまま)

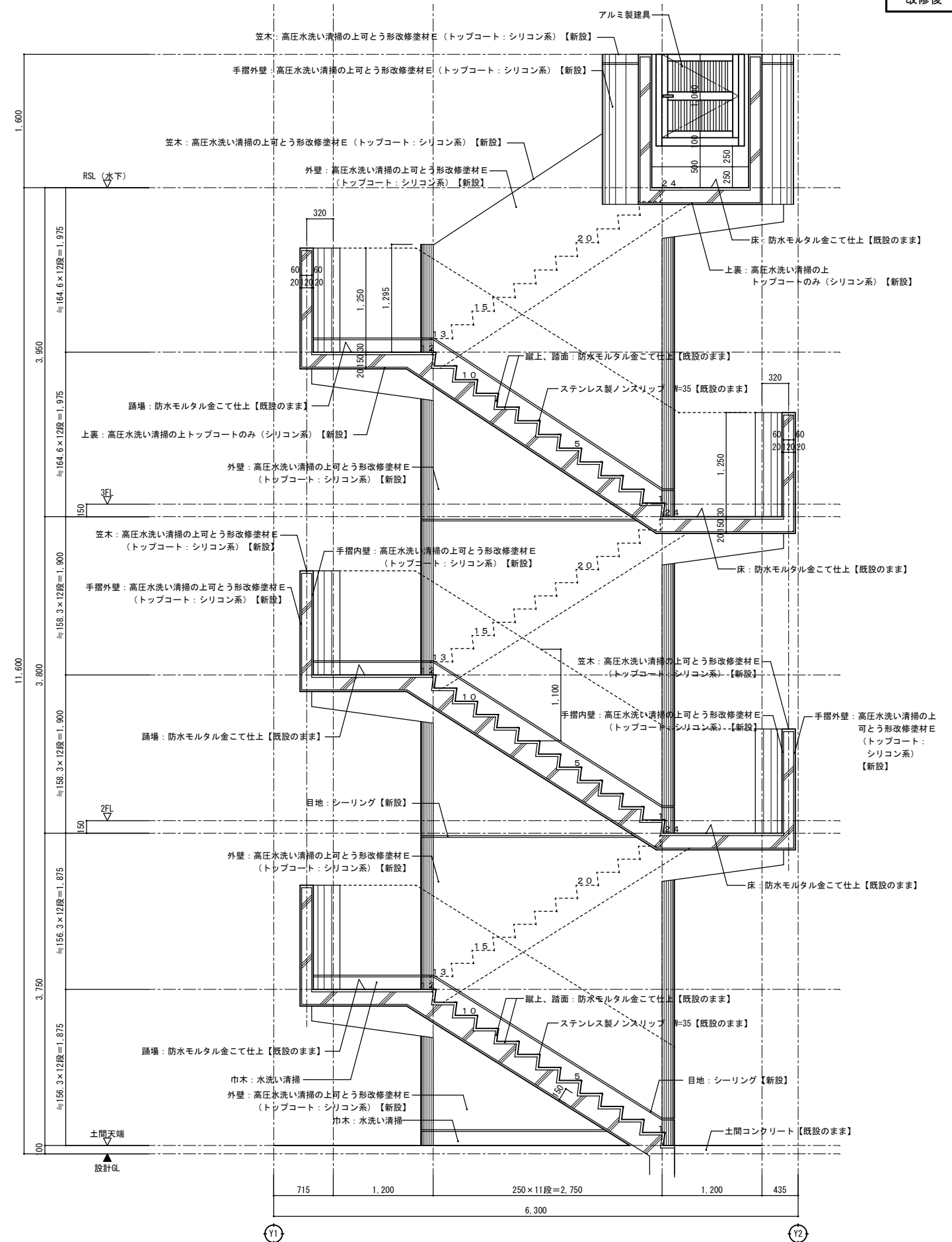
名 称	社会福祉会館外部保全工事				図面No.	A-17
図 面	改修前後 矩計図 縮尺 A1:1/30 A3:1/60					
製 作	図取No. 年 月 日 校 正					
訂 正	年 月 日					
設計・監理 岩崎設計事務所 1級建築士登録第66771号 岩崎 征一 Tel 052-231-8787						

改修前



改修前 外部階段断面詳細図 S=1/30

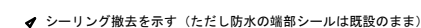
改修後



改修後 外部階段断面詳細図 S=1/30

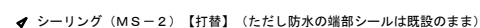
名 稱	社會福祉會館外部保全工事			図面 No.	A - 18
図 面	改修前後 外部階段断面詳細図 縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60				
製 作	設計 No.	等	作	日	
訂 正	3	2			
設計・監理 岩崎設計事務所 1級建築士登録第66771号 岩崎征一 Tel 052-231-8787					

改修前



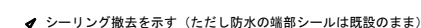
改修前 3階ベランダ断面詳細図 S=1/30

改修後



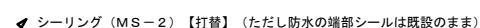
改修後 3階ベランダ断面詳細図 S=1/30

改修前



改修前 2階ベランダ断面詳細図 S=1/30

改修後



改修後 2階ベランダ断面詳細図 S=1/3

名 称	社会福祉会館外部保全工事					図面No.	A - 1 9	
内 容	改修前後 2. 3階ベランダ断面詳細図					縮尺		A1: 1/30 A3: 1/60
製 作	設計No.	3	2	月	日	批准		
訂 正						年		月
設計・監理 岩崎設計事務所 1級建築士登録第66771号 岩崎征一								
						Tel 052-231-8787		

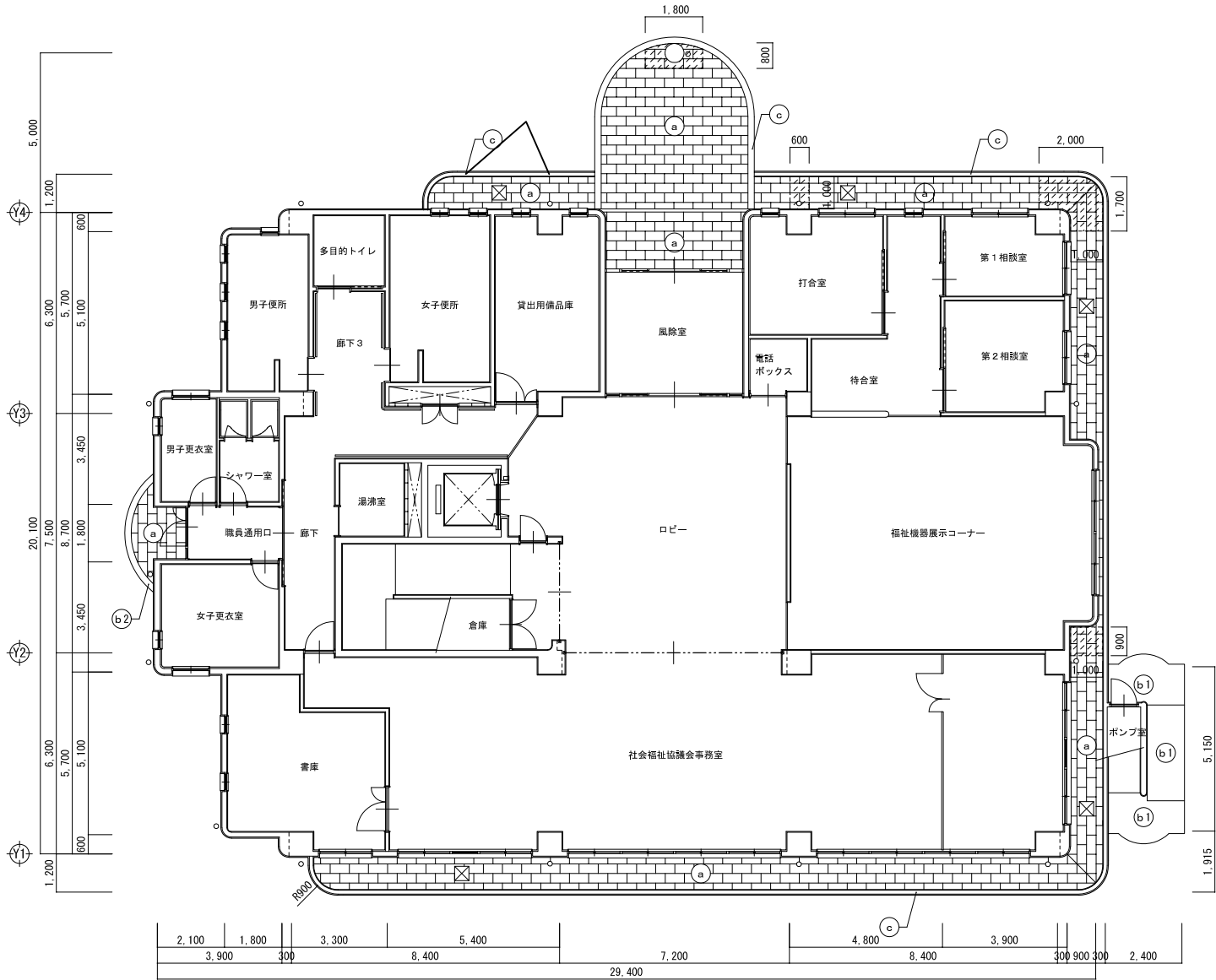
仕上凡例

改修前		改修後	
a	耐水石膏ボードt9.5捨貼の上岩綿吸音板t12（軒天用）貼【ハッチング部 撤去】	a	耐水石膏ボードt9.5捨貼の上岩綿吸音板t12（軒天用）貼【一部新設】
b1	コンクリート打放しの上複層塗材S i 吹付	b1	高圧水洗い清掃の上トップコートのみ（シリコン系）【新設】
b2		b2	高圧水洗い清掃の上可とう形複層塗材E（トップコート：シリコン系）【新設】
c	ステンレスt1.5フッ素樹脂焼付塗装	c	ステンレスt1.5フッ素樹脂焼付塗装【既設のまま】
☒	天井点検口【既設のまま】	☒	天井点検口【既設のまま】

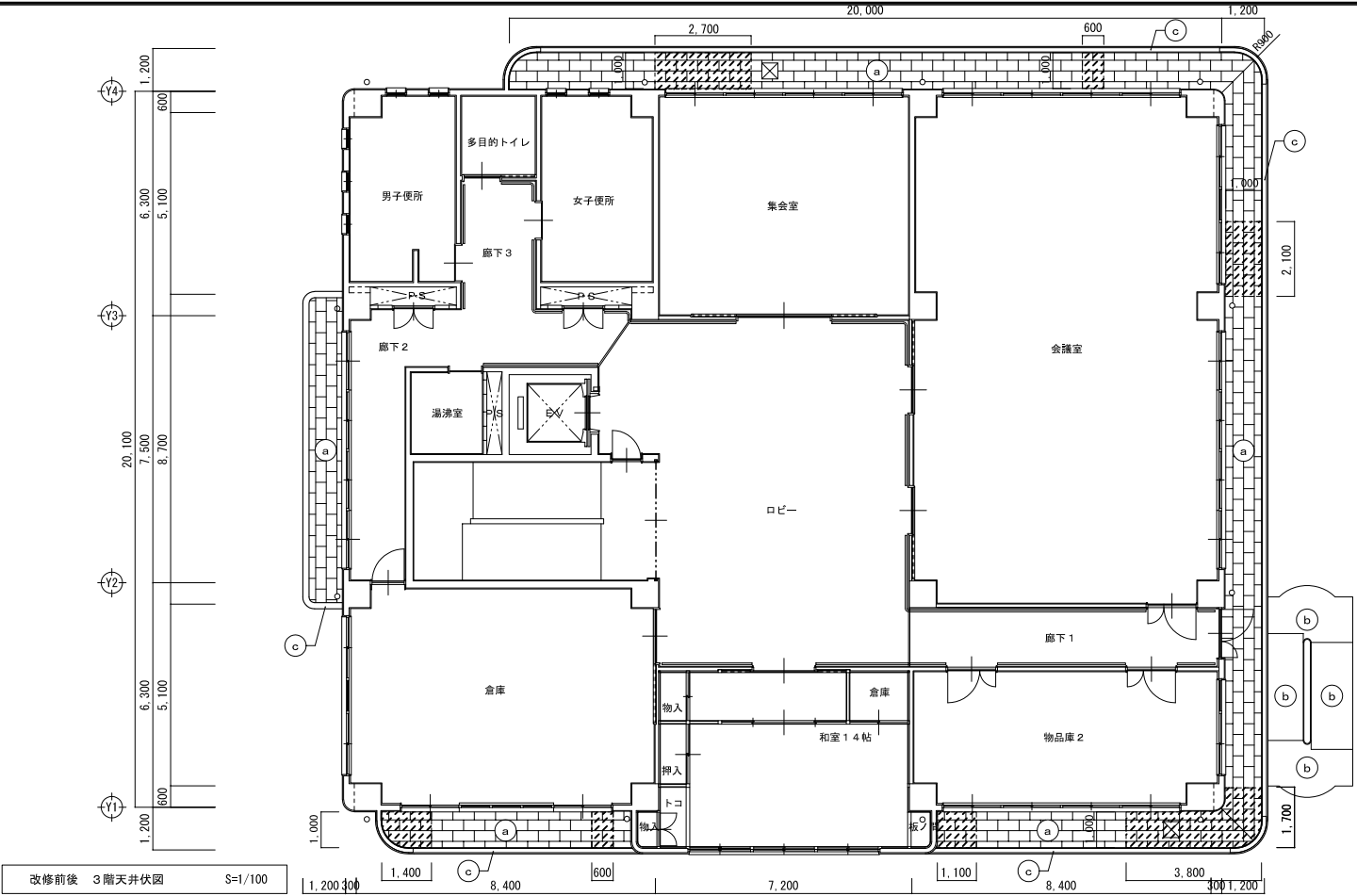


軒天改修部分を示す（仕上ボード、下地ボード張替え、廻り縁共）

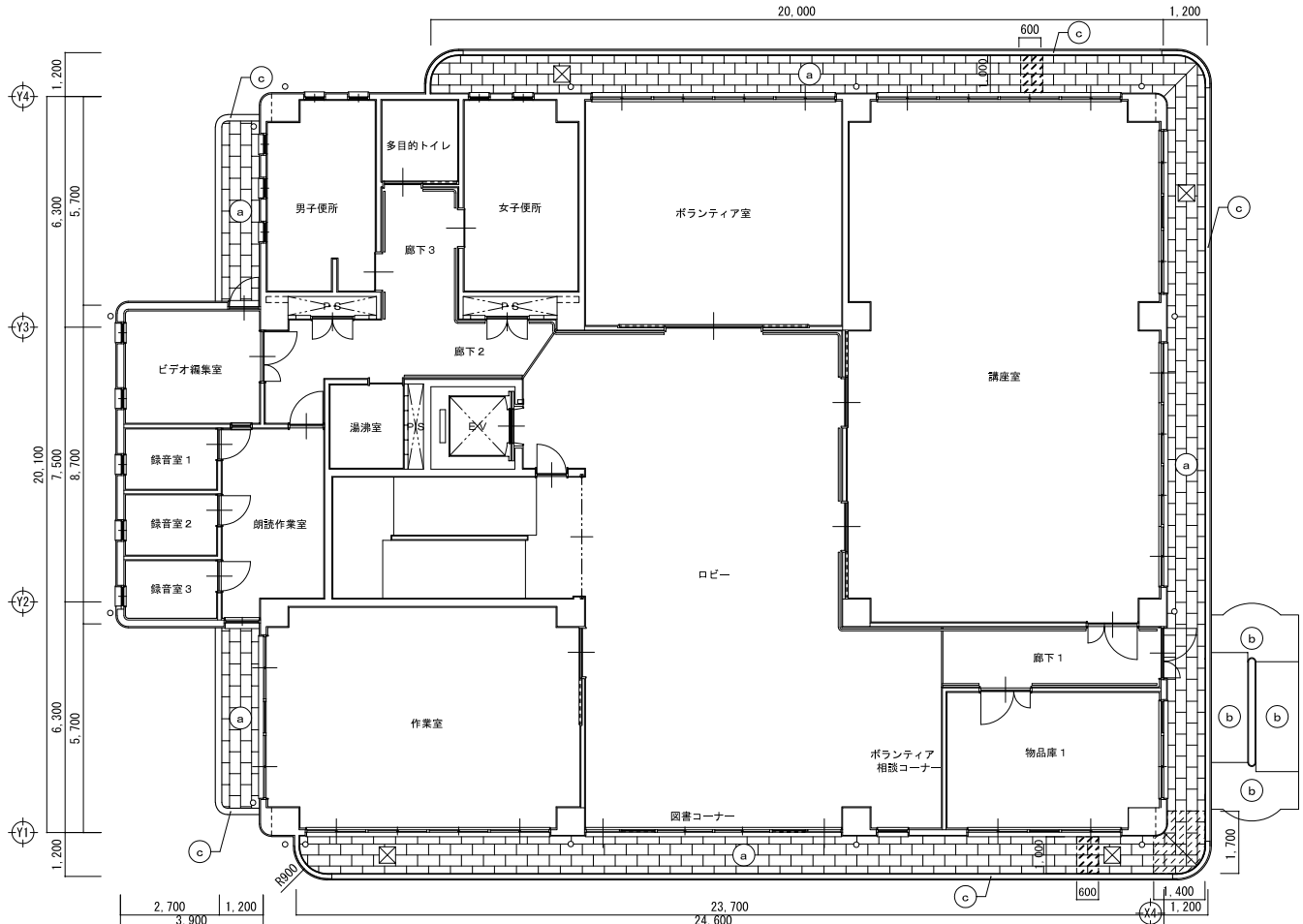
※軒天改修に先立ち下地を含む劣化状況を調査報告の上、監督員と改修範囲を協議すること。



改修前後 1階天井伏図 S=1/100



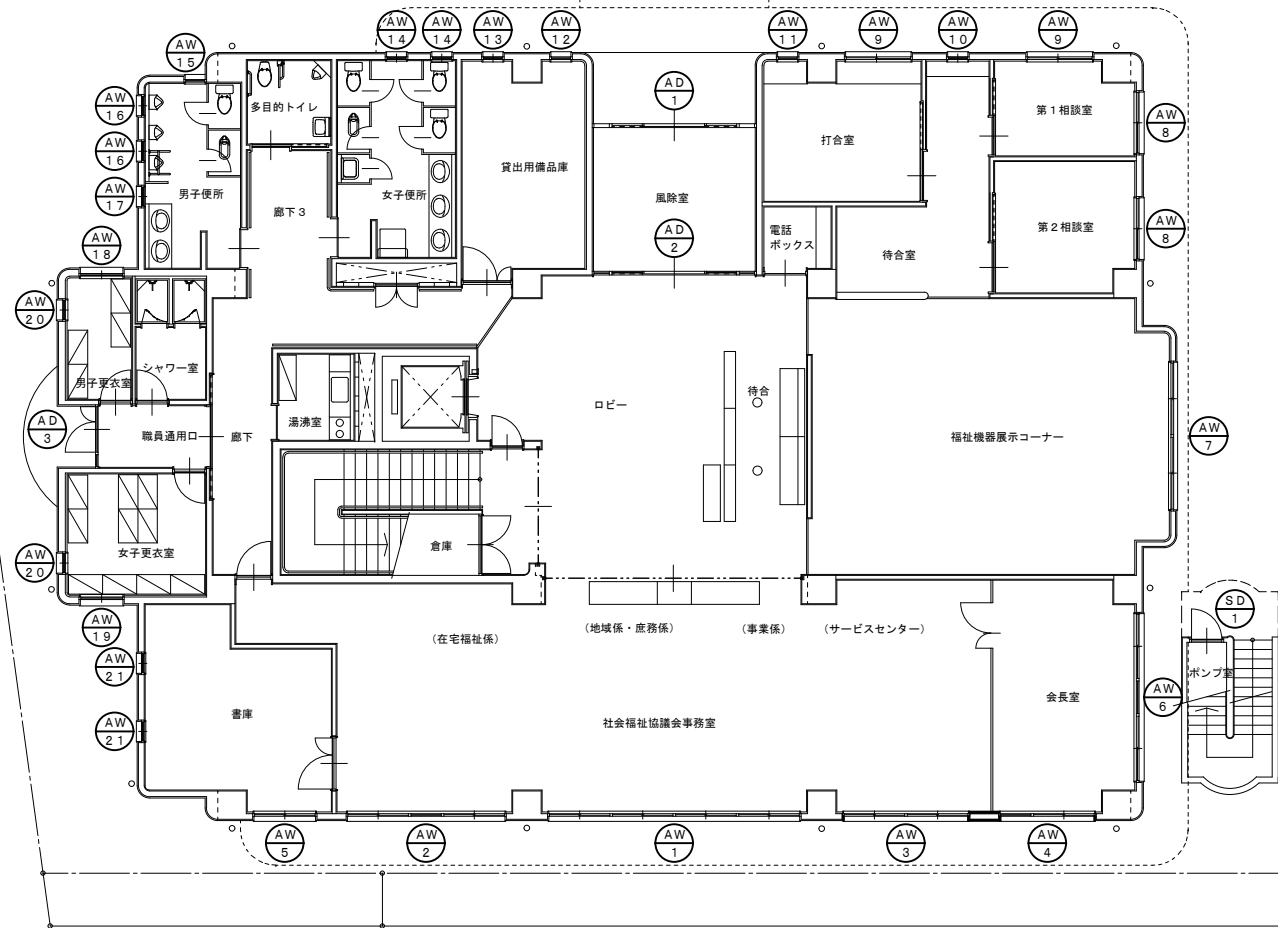
改修前後 3階天井伏図 S=1/100



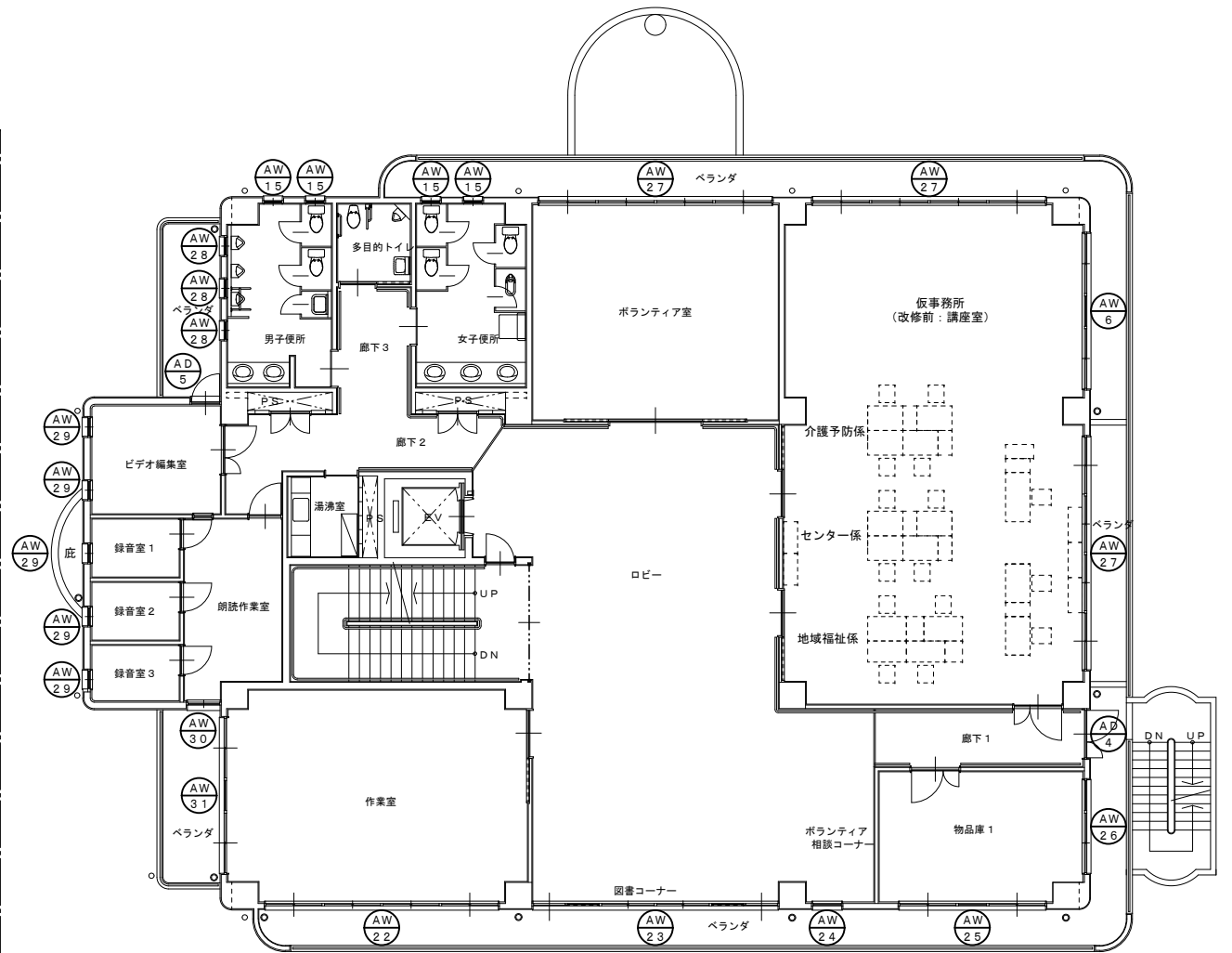
改修前後 2階天井伏図 S=1/100

名 称	社会福祉会館外部保全工事			図面No	A-20
図 面	改修前後 1～3階天井伏図			縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	
製 作	3	2	年 月 日		
訂 正			年 月 日		

設計・監理 岩崎設計事務所 1級建築士登録第06771号 岩崎隆一 Tel. 093-9231-8767

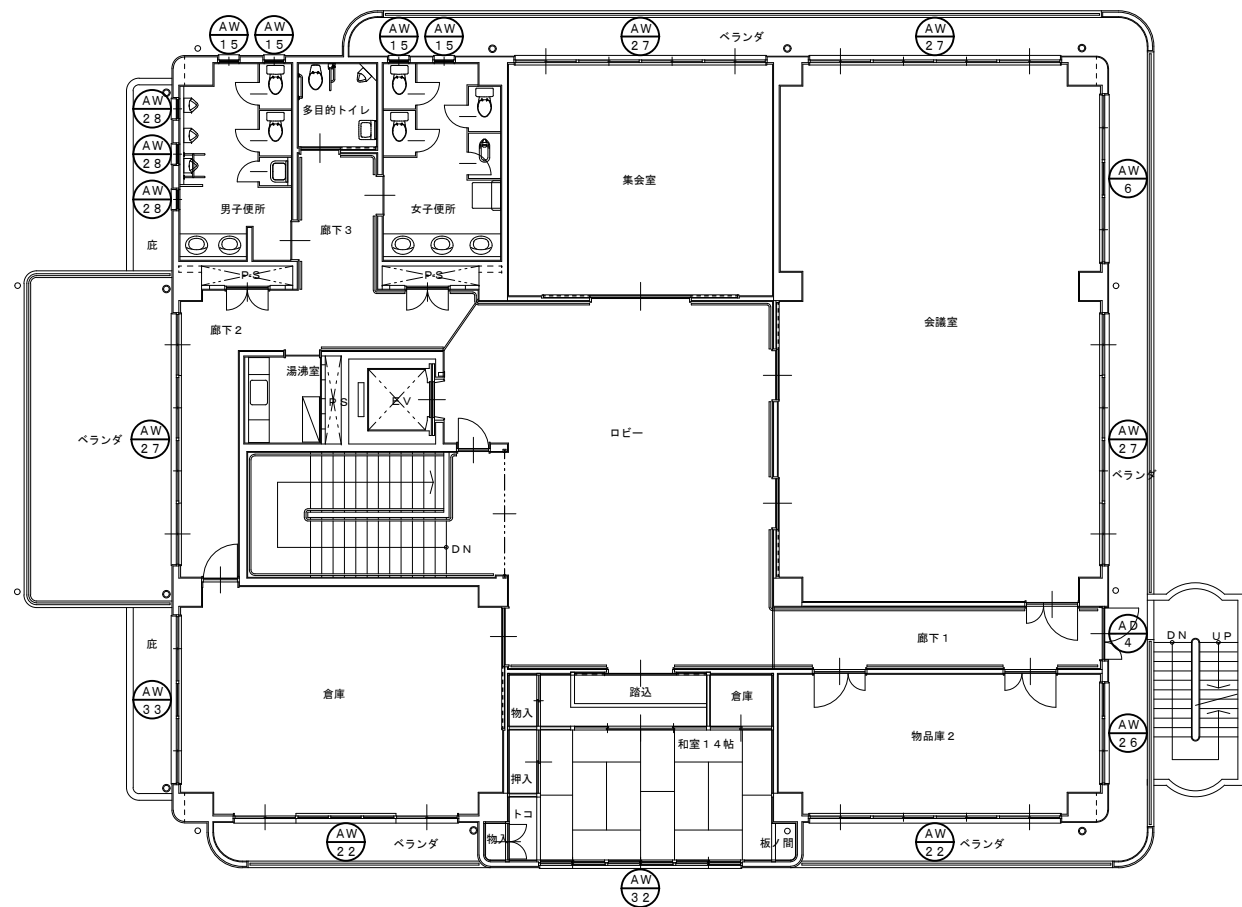


改修前後 1階建具符号図 S=1/100

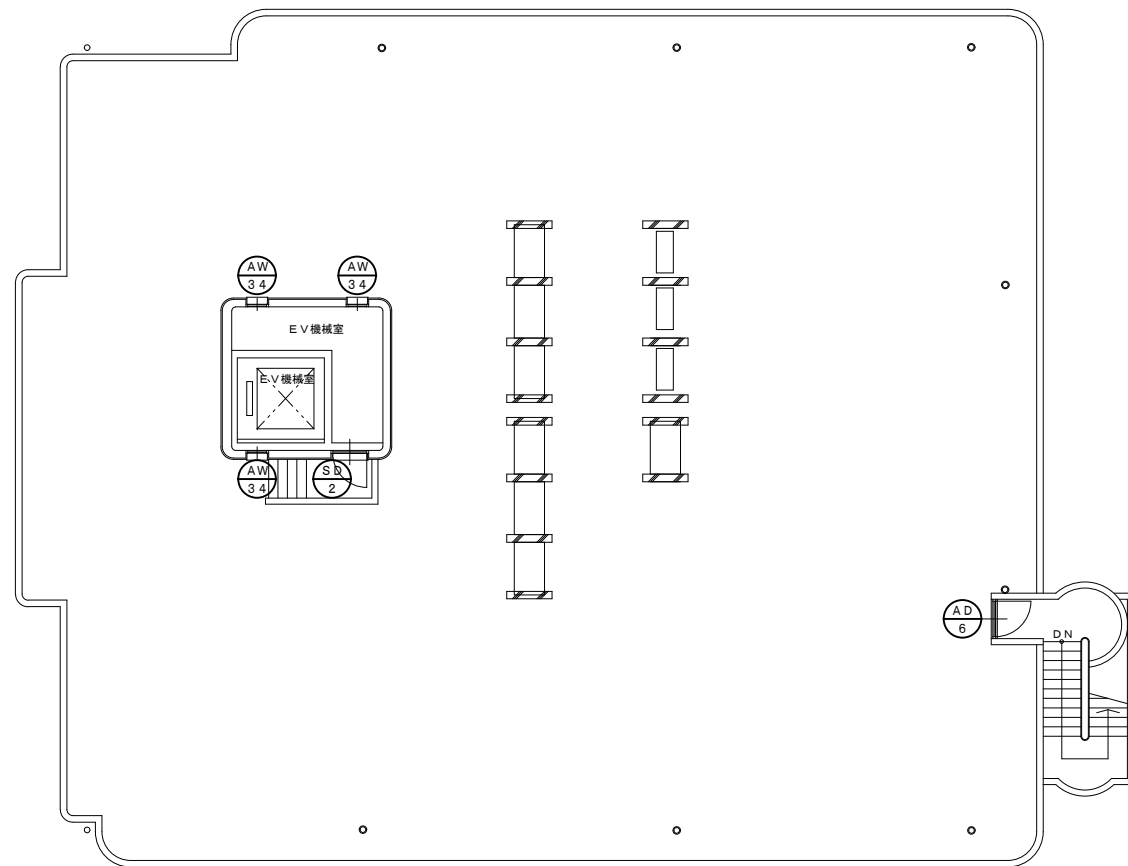


改修前後 2階建具符号図 S=1/100

名 称	社会福祉会館外部保全工事			図面No.	A-21
図 由	改修前後 1、2階建具符号図	図尺	A1:1/100 A3:1/200		
製 図	3	2	年 月 日		
訂 正			年 月 日		
設計・監理 岩崎設計事務所 1級建築士登録第66771号 岩崎 正一 T+1 052-231-9737					



改修前後 3階建具符号図 S=1/100

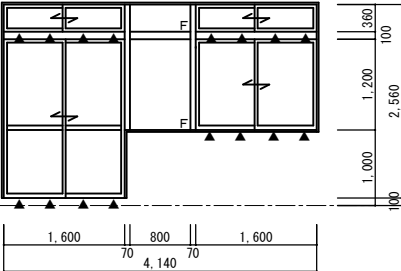
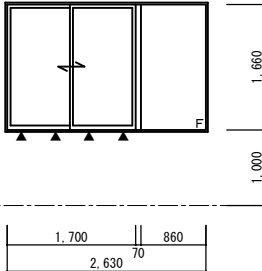
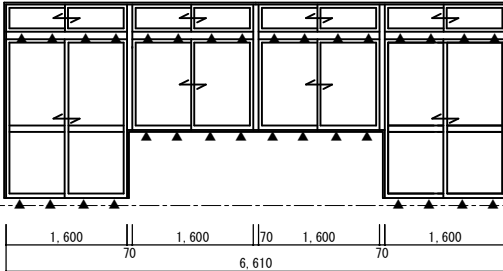
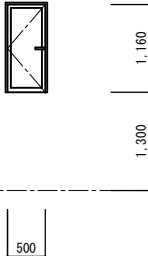
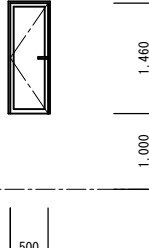
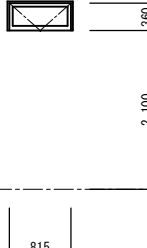
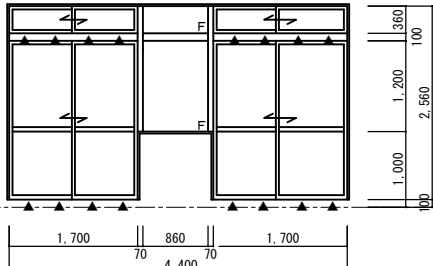
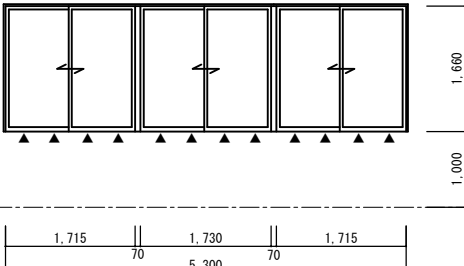
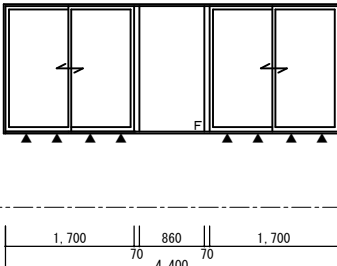
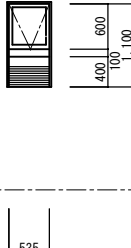
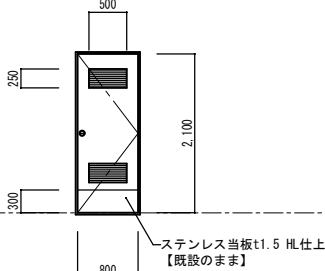
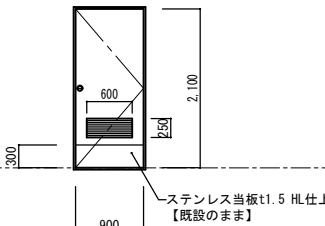


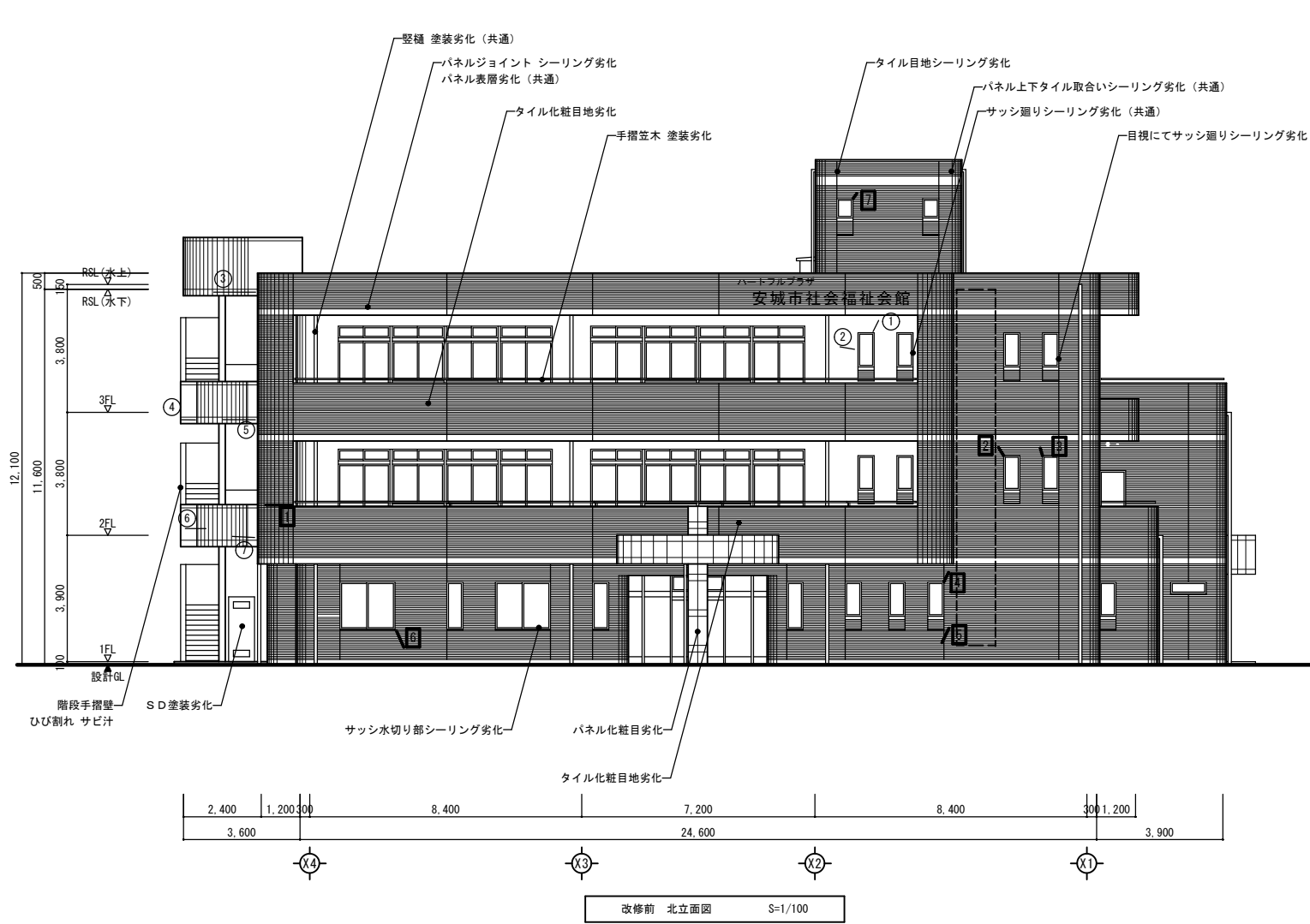
改修前後 屋上建具符号図 S=1/100

名 称	社会福祉会館外部保全工事			図面No	A - 2 2
図 由	改修前後 3階、屋上建具符号図		縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200		
製 作	設計No	年 月 日	校 正		
訂 正	3	2			
設計・監理 岩 崎 設 計 事 務 所 1級建築士登録第66771号 岩崎正一 Tel. 052-231-8737					

符号・名称		AD1 アルミ製両袖はめ殺し窓付両引き自動ドア(ランマ：外倒し窓及びはめ殺し窓)		<改修>		AD2 アルミ製両袖はめ殺し窓付両引き自動ドア(ランマ：はめ殺し窓)		<改修>		AD3 アルミ製はめ殺し窓付両引き親子ドア(ランマ：外倒し窓及びはめ殺し窓)		<改修>													
姿 図																									
室 名	数 量	1階 風除室		1		1階 風除室～ロビー		1		1階 職員通用口		1													
仕 上	見 込	電解着色(カラー)		1 0 0		電解着色(カラー)		1 0 0		電解着色(カラー)		7 0													
硝 子		熱線吸収強化フロート板ガラスt8 ランマ：熱線吸収フロート板ガラスt5				フロート強化ガラスt8 ランマ：フロート板ガラスt5				熱線吸収網入ガラスt6.8 ランマ：熱線吸収網入ガラスt6.8															
金 物		自動ドアエンジン、熱線感知光電スイッチ、安全光線、シリンダー錠、排煙錠、錠受、【既設のまま】				自動ドアエンジン、熱線感知光電スイッチ、安全光線、シリンダー錠、排煙錠、錠受、丁番、押棒【既設のまま】				シリンダー錠【撤去新設】、排煙錠【撤去新設】、錠受【撤去新設】、ステイダンバー【撤去新設】押棒【撤去新設】、丁番【撤去新設】、フランス差し【撤去新設】															
備 考		オペレーター装置【既設のまま】				オペレーター装置、アングルピース、ステンレス番指【既設のまま】、DC(S)【撤去新設】				オペレーター装置、アングルピース、ステンレス番指【既設のまま】DC(S)【撤去新設】															
符号・名称		AD4 アルミ製外倒しランマ付両開き親子ドア		<改修>		AD5 アルミ製片開き防音(エアタイトサッシ)		<改修>		AD6 アルミ製片開き格子扉		<既設のまま>		AW1 アルミ製4連引違窓		<改修>		AW2 アルミ製中央はめ殺し窓付両袖引違窓		<改修>					
姿 図																									
室 名	数 量	2・3階 廊下1～ベランダ		2		2階 ビデオ編集室～ベランダ		1		屋上		1		1階 社会福祉協議会事務室		1		1階 社会福祉協議会事務室		1					
仕 上	見 込	電解着色(カラー)		7 0		電解着色(カラー)		7 0		電解着色(カラー)		7 0		電解着色(カラー)		7 0		電解着色(カラー)		7 0					
硝 子		熱線吸収強化フロート板ガラスt6 ランマ：熱線吸収フロート板ガラスt5				ペアガラス(熱線吸収フロートガラスt6+中空層t6+フロートガラスt5)				－				熱線吸収網入ガラスt6.8				熱線吸収網入ガラスt6.8							
金 物		シリンダー錠、非常錠、排煙錠、錠受、ステイダンバー、丁番、フランス差し、レバーハンドル【既設のまま】				シリンダー錠、丁番、レバーハンドル【既設のまま】				シリンダー錠、丁番、レバーハンドル【既設のまま】				クレセント、戸車【撤去新設】				クレセント、戸車【撤去新設】							
備 考		オペレーター装置、アングルピース、ステンレス水切、ステンレス番指【既設のまま】非常時開錠部増設型保護カバー、DC(S)【撤去新設】				アングルピース、ステンレス水切り、ステンレス番指【既設のまま】DC(S)【撤去新設】				アングルピース、ステンレス水切り、ステンレス番指【既設のまま】DC(S)【撤去新設】				アルミ水切、アングルピース、網戸、戸当り【既設のまま】、外れ止め【撤去新設】				アルミ水切、アングルピース、網戸、戸当り【既設のまま】外れ止め【撤去新設】							
符号・名称		AW3 アルミ製2連引違窓		<改修>		AW4 アルミ製袖はめ殺し窓付引違窓		<改修>		AW5 アルミ製引違窓		<改修>		AW6 アルミ製中央はめ殺し窓付両袖引違窓		<改修>		AW7 アルミ製2連引違ランマ付引違い窓		<改修>		AW8 アルミ製引違窓		<改修>	
姿 図																									
室 名	数 量	1階 社会福祉協議会事務室		1		1階 会長室		1		1階 書庫		1		1階 会長室、2階 仮事務所(改修前：講座室) 3階 会議室		3		1階 福祉機器展示コーナー		1		1階 第1相談室、第2相談室		2	
仕 上	見 込	電解着色(カラー)		7 0		電解着色(カラー)		7 0		電解着色(カラー)		7 0		電解着色(カラー)		7 0		電解着色(カラー)		7 0		電解着色(カラー)		7 0	
硝 子		熱線吸収網入ガラスt6.8				熱線吸収網入ガラスt6.8				網入型ガラスt6.8				熱線吸収フロート板ガラスt6				熱線吸収フロート板ガラスt6				型板ガラスt6			
金 物		クレセント、戸車【撤去新設】				クレセント、戸車【撤去新設】				クレセント、戸車【撤去新設】				クレセント、戸車【撤去新設】				クレセント、戸車【撤去新設】				クレセント、戸車【撤去新設】			
備 考		アルミ水切、アングルピース、網戸、戸当り【既設のまま】外れ止め【撤去新設】				アルミ水切、アングルピース、網戸、戸当り【既設のまま】外れ止め【撤去新設】				アルミ水切、アングルピース、網戸、戸当り【既設のまま】外れ止め【撤去新設】				アルミ水切、アングルピース、網戸、戸当り【既設のまま】網戸 W550×H1660 樹脂製 計2枚【張替】、外れ止め【撤去新設】				アルミ水切、アングルピース、網戸、戸当り【既設のまま】網戸 W550×H460 樹脂製 計1枚【張替】、外れ止め【撤去新設】				アルミ水切、アングルピース、網戸、戸当り【既設のまま】外れ止め【撤去新設】			
特記事項	1. 建物金物は原則として見本提出の上係員の承認を得ること。 2. アルミパネル及びガラス部にはすべてシーリングを施すこと。 3. 建具金物は原則としてステンレス製とする。 4. 外部建具廻りはシーリング(MS-2)を充填のこと、下部は2回充填とする。 5. すべての建具において建具調整を行う。 6. 外れ止め(新設)は二重外れ止めとすること。																								
	7. ガラスビード(撤去) ガラスシーリング(新設)のとき、ガラス(仮撤去復旧)をみること。 8. 工事着手前に建具調査(網戸を含む)を行い、その調査結果を元に監督員と協議し、改修すること。 9. ▲ 部は、戸車部分を示す。 10. ガラスクリーニング(両面)をみこむこと。																								
表 紙		社会福祉会館外部保全工事										A-23													
図 面		建具表(1)										縮尺 A1:1/50 A3:1/100													
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3 2																							
製 図		図 3																							

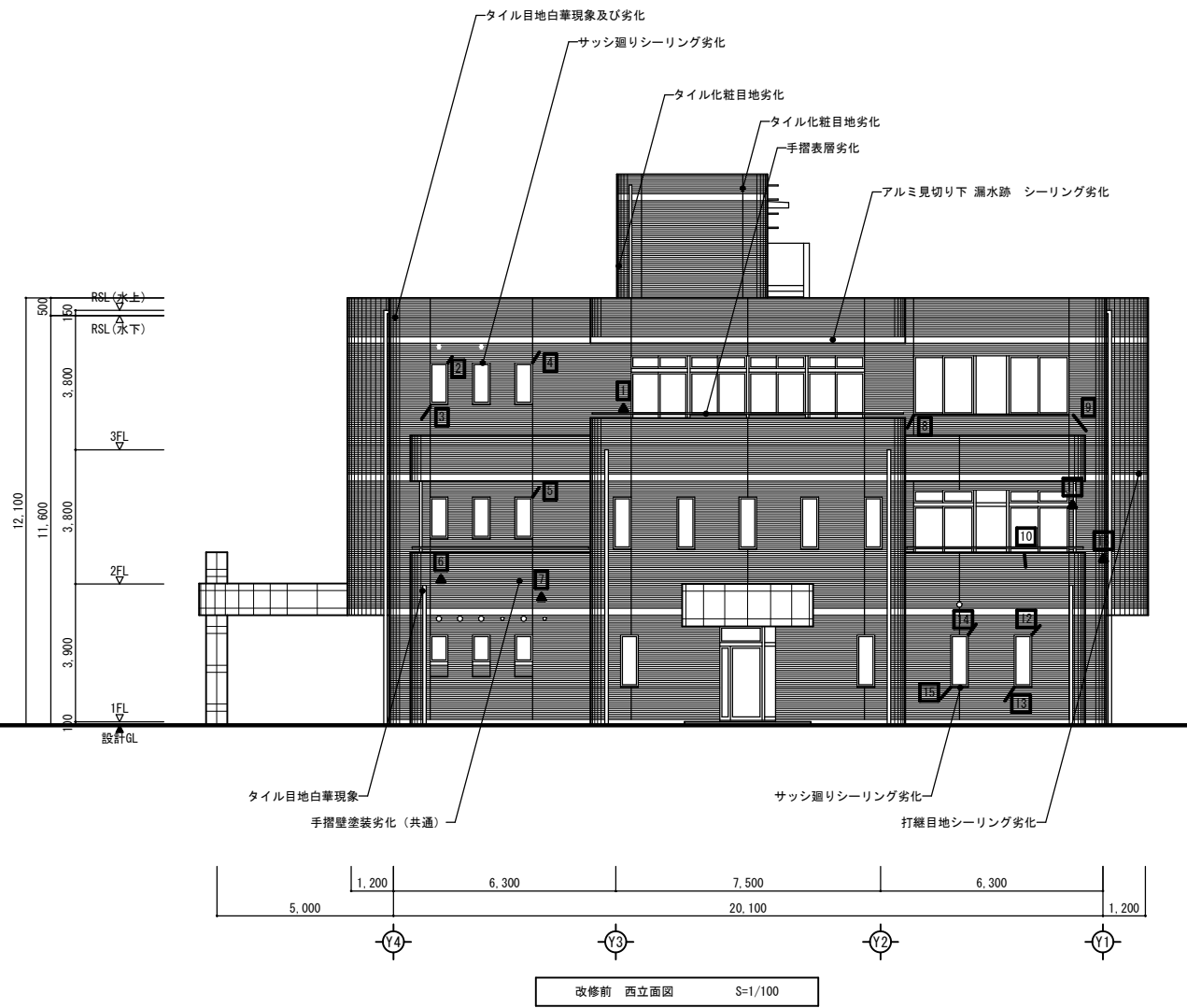
符号・名称		AW9アルミ製引違窓	<改修>	AW10アルミ製片開き窓	<改修>	AW11アルミ製はめ殺し窓	<改修>	AW12アルミ製はめ殺し窓	<改修>	AW13アルミ製片開き窓	<改修>	AW14アルミ製固定ガラリ付片開き窓	<改修>		
姿 図		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 			
室 名	数 量	1階 第1相談室、打合室	2	1階 待合室	1	1階 打合室	1	1階 貸出用備品庫	1	1階 貸出用備品庫	1	1階 女子便所	2		
仕 上	見 込	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0		
硝 子		型板ガラスt6		型板ガラスt6		型板ガラスt6		型板ガラスt6		型板ガラスt6		型板ガラスt6			
金 物		クレセント、戸車【撤去新設】		ハンドル、アームストッパー【既設のまま】		－		－		ハンドル、アームストッパー【既設のまま】		ハンドル、カムラッチ受、丁番、アームストッパー【既設のまま】			
備 考		アルミ水切、アングルピース、網戸、戸当り【既設のまま】 外れ止め【撤去新設】		アルミ水切、アングルピース、網戸、戸当り【既設のまま】		アルミ水切、アングルピース【既設のまま】		アルミ水切、アングルピース【既設のまま】		アルミ水切、アングルピース、網戸【既設のまま】		ガラリ（ステンレス製防虫ネット）、アルミ水切、アングルピース、 網戸【既設のまま】			
符号・名称		AW15アルミ製固定ガラリ付片開き窓	<改修>	AW16アルミ製固定ガラリ付片開き窓	<改修>	AW17アルミ製固定ガラリ付片開き窓	<改修>	AW18アルミ製外倒し窓	<改修>	AW19アルミ製外倒し窓	<改修>	AW20アルミ製片開き窓	<改修>		
姿 図		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 			
室 名	数 量	1～3階 男子便所、2～3階 女子便所	9	1階 男子便所	2	1階 男子便所	1	1階 男子更衣室	1	1階 女子更衣室	1	1階 男子更衣室、女子更衣室	2		
仕 上	見 込	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0		
硝 子		型板ガラスt6		型板ガラスt6		型板ガラスt6		型板ガラスt6		網入型ガラスt6.8		網入型ガラスt6.8			
金 物		ハンドル、カムラッチ受、丁番、アームストッパー【既設のまま】		ハンドル、カムラッチ受、丁番、アームストッパー【既設のまま】		ハンドル、カムラッチ受、丁番、アームストッパー【既設のまま】		排煙錠【撤去新設】、錠受【撤去新設】、ステイダンパー【撤去新設】		排煙錠、錠受、ステイダンパー【既設のまま】		レバーハンドル、カムラッチ受、アームストッパー、丁番【既設のまま】			
備 考		ガラリ（ステンレス製防虫ネット）、アルミ水切、アングルピース 網戸【既設のまま】		ガラリ（ステンレス製防虫ネット）、アルミ水切、アングルピース 網戸【既設のまま】		ガラリ（ステンレス製防虫ネット）、アルミ水切、アングルピース 網戸【既設のまま】		オペレーター装置【撤去新設】、アルミ水切【既設のまま】 アングルピース【既設のまま】		オペレーター装置、アルミ水切、アングルピース【既設のまま】		アルミ水切、アングルピース、網戸【既設のまま】			
符号・名称		AW21アルミ製片開き窓	<改修>	AW22アルミ製4連引違ランマ付4連引違窓(両袖掃き出し・中央2連中窓)	<改修>	AW23アルミ製両袖はめ殺し窓付片引き窓・中央2連引違窓(ランマ：両袖2連はめ殺し・中央2連引違窓)	<改修>	AW24アルミ製片開き窓(ランマ：外倒し窓)	<改修>						
姿 図		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 		外部建具廻りシーリング【撤去新設】、ガラス押えシーリング【撤去新設】 		防火設備					
											防火設備				
室 名	数 量	1階 書庫	2	2階 作業室、3階 倉庫・物品庫2	3	2階 ロビー(図書コーナー)	1	2階 ロビー(ボランティア相談コーナー)	1	防火設備					
仕 上	見 込	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0	防火設備					
硝 子		網入型ガラスt6.8		熱線吸収網入ガラスt6.8		熱線吸収網入ガラスt6.8		熱線吸収網入ガラスt6.8		防火設備					
金 物		レバーハンドル、カムラッチ受、アームストッパー、丁番【既設のまま】		クレセント、戸車【撤去新設】		クレセント、戸車【撤去新設】		排煙錠、錠受、ステイダンパー、ハンドル、カムラッチ受、 アームストッパー【既設のまま】		防火設備					
備 考		アルミ水切、アングルピース、網戸【既設のまま】		アルミ水切、アングルピース、ステンレス下枠、オペレーター装置、戸当り【既設のまま】 網戸 W800×H360 樹脂製 計1枚【張替】、外れ止め【撤去新設】		アルミ水切、アングルピース、ステンレス下枠、オペレーター装置、戸当り【既設のまま】 網戸 W760×H360 樹脂製 計2枚【張替】、外れ止め【撤去新設】		アルミ水切、アングルピースオペレーター装置、網戸【既設のまま】		防火設備					
												名 称	社会福祉会館外部保全工事		A－2 4
												図 由	建具表（2）	縮尺 A1：1/50 A3：1/100	
												製 作	3 2	日 月 年	
												訂 正			
												設計・製作 岩 崎 設 計 事 務 所 1級建築士登録第66771号 岩崎 祐一 T+1 052-231-9737			

符号・名称		AW 25 アルミ製両袖引違窓(掃出し・中窓)・中央はめ殺し窓(ランマ：中央はめ殺し・両袖引違窓)		<改修>		AW 26 アルミ製はめ殺し窓付引違窓		<改修>		AW 27 アルミ製4連引違ランマ付4連引違窓(両袖掃出し・中央2連中窓)		<改修>		AW 28 アルミ製片開き窓		<改修>					
姿 図																					
防火設備														防火設備							
室 名	数 量	2階 物品庫 1		1	2階 物品庫 1、3階 物品庫 2	2	2階 仮事務所(改修前：講座室)、ボランティア室、3階 会議室、集会室、廊下 2		7	2階・3階 男子便所		6									
仕 上	見 込	電解着色(カラー)		7 0	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)		7 0	電解着色(カラー)		7 0									
硝 子	熱線吸収網入ガラスt6.8													熱線吸収型板ガラスt6							
金 物	クレセント、戸車【撤去新設】													ハンドル、カムラッチ受、丁番、アームストッパー【既設のまま】							
備 考	アルミ水切、アングルピース、ステンレス下枠、オペレーター装置、戸当り【既設のまま】 網戸 W800×H1200 樹脂製 計1枚【張替】、外れ止め【撤去新設】													アルミ水切、アングルピース、網戸【既設のまま】							
符号・名称	AW 29 アルミ製片開き防音窓(エアタイトサッシ)		<改修>		AW 30 アルミ製外倒し防音窓(エアタイトサッシ)		<改修>		AW 31 アルミ製はめ殺し窓付両袖引違窓(ランマ：中央はめ殺し両袖引違窓)		<改修>		AW 32 アルミ製3連引違窓		<改修>		AW 33 アルミ製はめ殺し窓付両袖引違窓		<改修>		
姿 図																					
防火設備										防火設備						防火設備					
室 名	数 量	2階 ビデオ編集室、録音室 1～3		5	2階 作業室	1	2階 作業室	1	3階 和室	1	3階 倉庫	1									
仕 上	見 込	電解着色(カラー)		7 0	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0	電解着色(カラー)	7 0									
硝 子	ペアガラス(熱線吸収フロートガラスt5+中空層t6+網入型ガラスt6.8)												ペアガラス(熱線吸収フロートガラスt6+中空層t6+網入型ガラスt6.8)		熱線吸収フロート板ガラスt6 ランマ：熱線吸収フロート板ガラスt5		熱線吸収網入磨き板ガラスt6.8		網入型ガラスt6.8		
金 物	ハンドル、カムラッチ受、丁番、アームストッパー【既設のまま】												排煙錠、錠受、ステイダンパー【既設のまま】		クレセント、戸車【撤去新設】		クレセント、戸車【撤去新設】		クレセント、戸車【撤去新設】		
備 考	アルミ水切、アングルピース、網戸【既設のまま】												アルミ水切、アングルピース、オペレーター装置【既設のまま】		アルミ水切、アングルピース、ステンレス下枠、オペレーター装置、網戸、戸当り【撤去新設】 外れ止め【撤去新設】		アルミ水切、アングルピース、網戸、戸当り【撤去新設】 外れ止め【撤去新設】		アルミ水切、アングルピース、網戸、戸当り【撤去新設】 外れ止め【撤去新設】		
符号・名称	AW 34 アルミ製可動ガラリ付外倒し窓		<改修>		SD 1 スチール製片開きフラッシュ戸		<改修>		SD 2 スチール製片開きフラッシュ戸		<改修>										
姿 図																					
ステンレス当板t1.5 HL仕上【既設のまま】																					
ステンレス当板t1.5 HL仕上【既設のまま】																					
ステンレス当板t1.5 HL仕上【既設のまま】																					
室 名	数 量	屋上 EV機械室		3	1階 ポンプ室	1	屋上 EV機械室	1													
仕 上	見 込	電解着色(カラー)		7 0	D P (1) 【塗替】	8 0	D P (1) 【塗替】	8 0													
硝 子	型板ガラスt6												—		—		—				
金 物	カムラッチハンドル、アームストッパー、丁番【撤去新設】												ケースハンドル、シリンダー錠、丁番【既設のまま】		ケースハンドル、シリンダー錠、丁番【既設のまま】		—		—		
備 考	アルミ水切、ガラリ(ステンレス製防虫ネット)、網戸【既設のまま】												換気ガラリ、ステンレス番摺、ステンレス当板t1.5 HL仕上【既設のまま】		換気ガラリ、ステンレス番摺、ステンレス当板t1.5 HL仕上【既設のまま】		—		—		
																	</				



改修前 北立面図 S=1/100

北 面			
符号	吹付面	ひび割れ (m)	タイル面ひび割れ (m)
	△	△	△
	0.2mm以下	0.2mm以上 1.0mm未満	0.2mm以下 0.2mm以上 1.0mm未満
①	0.8		0.15
②	0.5		0.01
③	2.0		0.01
④	0.7		0.01
⑤	1.2		0.025
⑥	0.5		0.065
⑦	0.5		0.01
集計	6.2		0.28



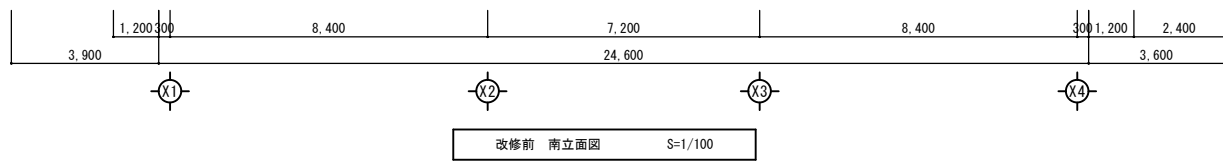
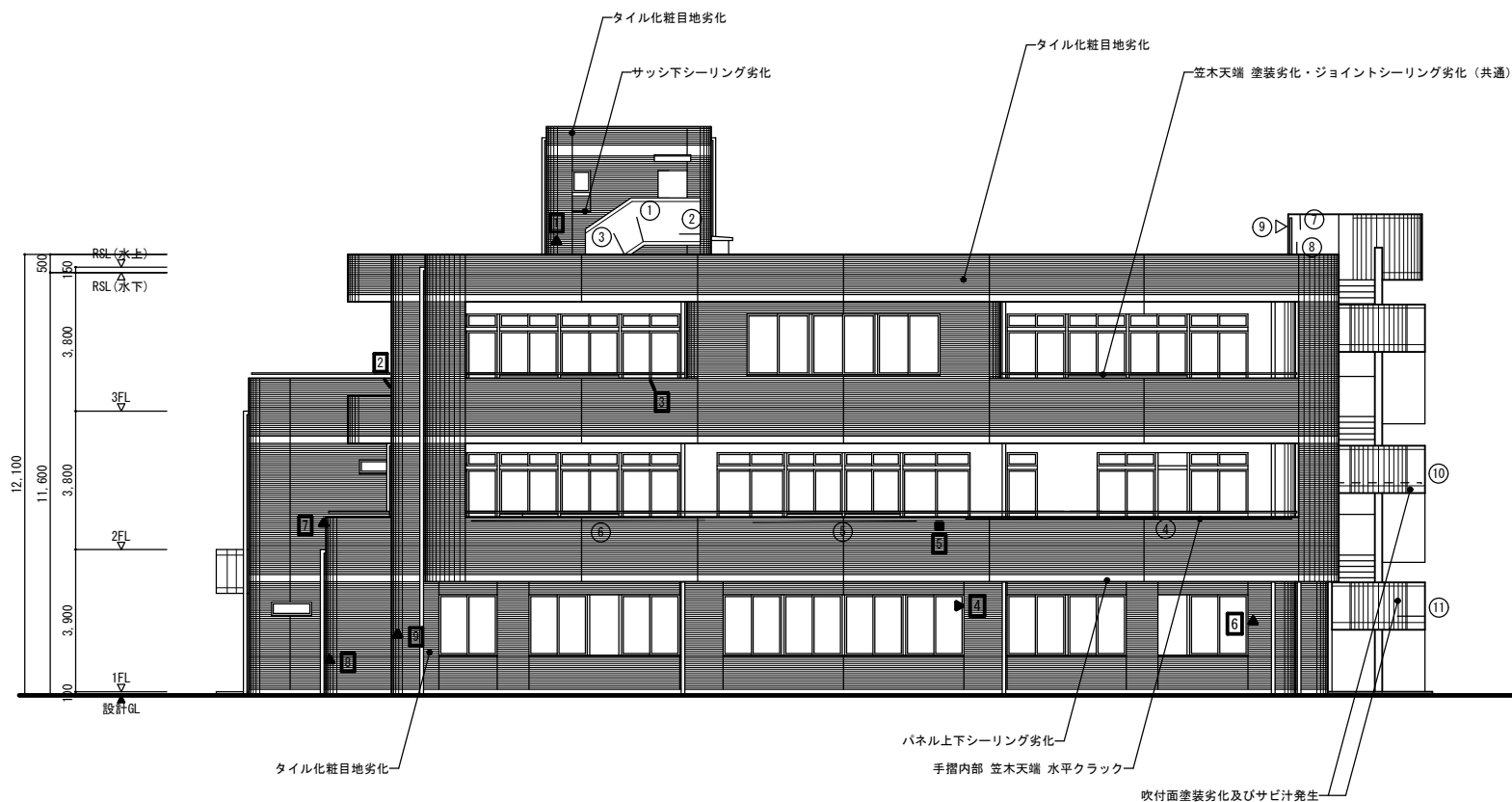
改修前 西立面図 S=1/100

西 面					
符号	タイル面ひび割れ (m)	タイル面 (m)	符号	タイル面ひび割れ (m)	タイル面 (m)
	△	△		△	△
	0.2mm以下	0.2mm以上 1.0mm未満		0.2mm以下	0.2mm以上 1.0mm未満
1			11		0.01
2	0.025		12	0.04	
3	0.03		13	0.03	
4	0.015		14	0.04	
5	0.025		15	0.04	
6		0.02	16		1.5
7		0.04			
8	0.015				
9	0.035				
10	0.01				
集計			集計	0.305	1.645
			参考数量		4.935

※外壁劣化部分の参考数量は、目視・打音調査時の集計数量の3倍としている。

参考図

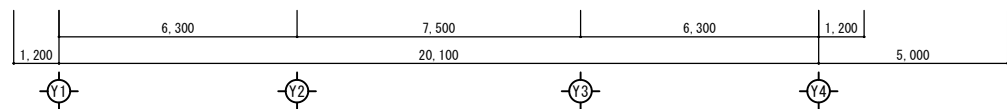
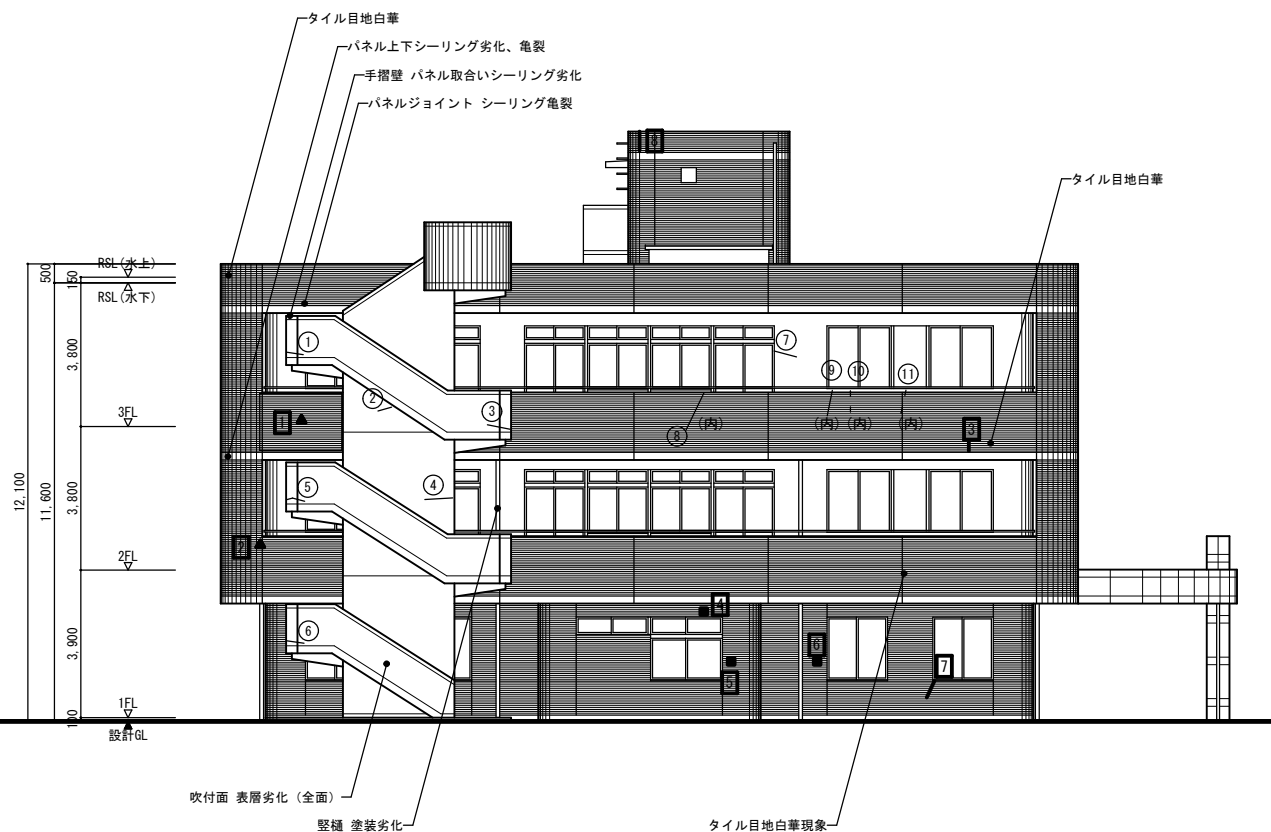
名 称	社会福祉会館外部保全工事			図番No.	B-01
図 名	劣化図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200		
図 示	立面図 (1) (参考図)				
製 図	3	2	年 月 日		
訂 正					
設計・監理 岩崎設計事務所 1級建築士登録第66771号 岩崎 正一 Tel. 052-231-9737					



改修前 南立面図 S=1/100

南 面					
	吹付面	ひび割れ (m)	タイル面ひび割れ (m)	タイル面 (㎡)	
符号	△ / 0.2mm以下	△ / 0.2mm以上 1.0mm未満	符号	▲ / 0.2mm以下	欠損
①	1.0		1	0.02	
②	0.7		2	0.015	
③	1.0		3	0.01	
④	8.0		4	0.075	
⑤	5.0		5	0.01	
⑥	7.0		6	0.06	
⑦	0.7		7	0.15	
⑧	1.0		8	0.05	
⑨	1.0		9	0.125	
⑩		2.5			
⑪	1.0				
集計	26.4	2.5	0.025	0.48	0.01
参考数量		7.5		1.44	0.03

※外壁劣化部分の参考数量は、目視・打音調査時の集計数量の3倍としている。

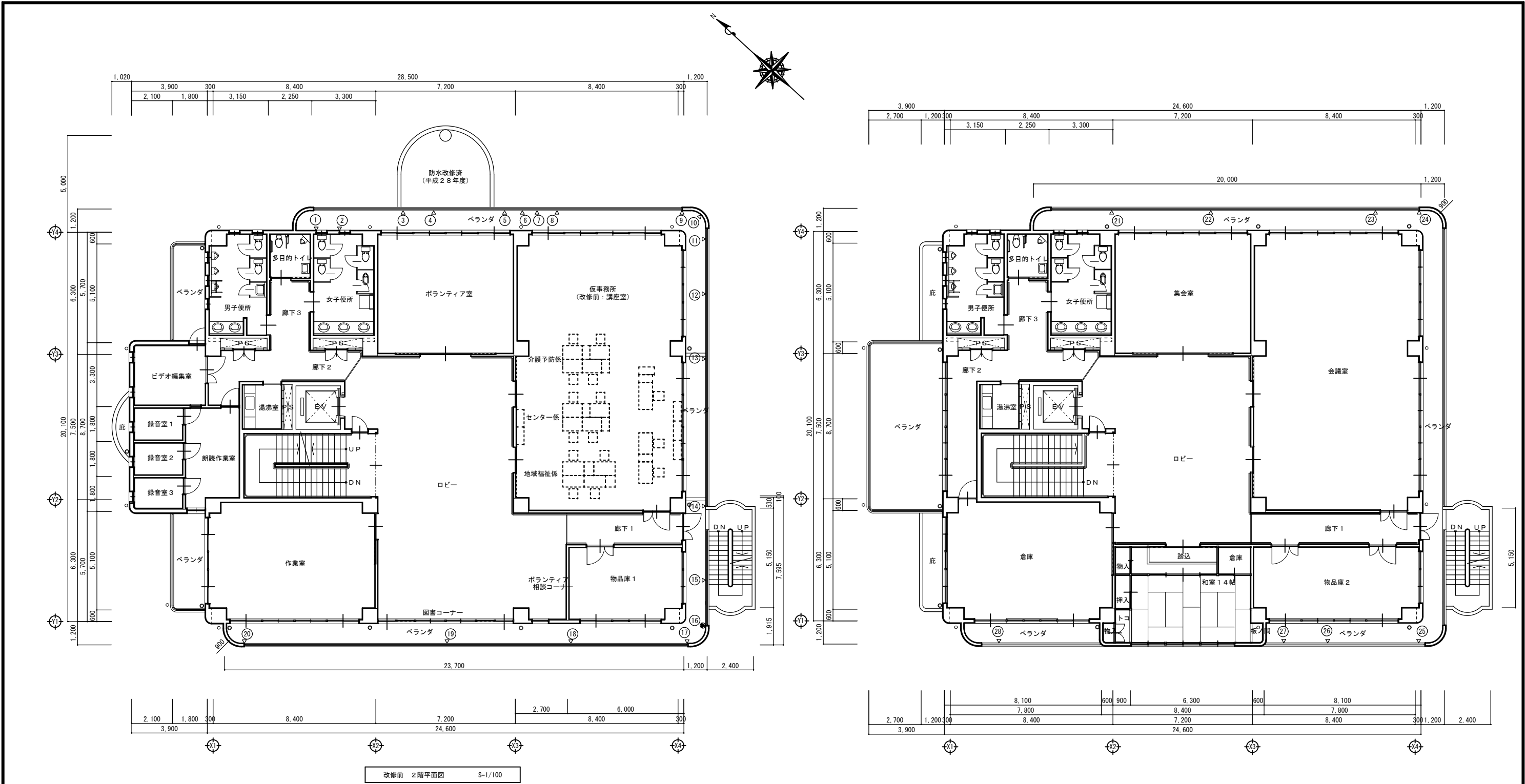


改修前 東立面図 S=1/100

東 面					
	吹付面	ひび割れ (m)	タイル面ひび割れ (m)	タイル面 (㎡)	
符号	△ / 0.2mm以下	△ / 0.2mm以上 1.0mm未満	符号	▲ / 0.2mm以下	欠損
①	0.8		1	3.2	
②	0.5		2	0.025	
③	1.0		3	0.015	
④	0.5		4	0.01	
⑤	0.5		5	0.025	
⑥	0.7		6	0.01	
⑦	1.0		7	0.05	
⑧	1.0		8	0.075	
⑨	1.0				
⑩		1.0			
⑪		1.0			
集計	7.0	2.0	0.14	3.27	
参考数量		6.0		9.81	

※外壁劣化部分の参考数量は、目視・打音調査時の集計数量の3倍としている。

参考図



2階 手摺内壁														3階 手摺内壁						
符号	吹付面 ひび割れ		吹付面						符号	吹付面 ひび割れ		吹付面						符号	吹付面 ひび割れ	
	△	△	○ 浮き部			● 欠損				△	△	○ 浮き部			● 欠損				△	△
	0.2mm以下	0.2mm以上 1.0mm未満	横 (m)	縦 (m)	面積 (m2)	横 (m)	縦 (m)	面積 (m2)		0.2mm以下	0.2mm以上 1.0mm未満	横 (m)	縦 (m)	面積 (m2)	横 (m)	縦 (m)	面積 (m2)		0.2mm以下	0.2mm以上 1.0mm未満
①	1.5								⑪	1.0								⑲	1.0	
②	0.7								⑫	0.9								⑳	1.2	
③	1.0								⑬	1.0								㉑	1.2	
④	0.7								⑭	1.0								㉒	0.9	
⑤	1.0								⑮	1.2								㉓	1.0	
⑥	0.8								⑯					0.05	0.1	0.005		㉔	1.0	
⑦	1.0								⑰	1.0								㉕	1.0	
⑧	1.0								⑱	1.0								㉖	1.0	
⑨	0.7								⑲	1.2								㉗	1.0	
⑩	1.5								⑳	1.2								㉘	1.2	
集計									集計	19.4						0.005		集計	8.5	